

かるがるできる シリーズ

# かるがるできる在庫6.5

## 在庫管理+棚卸

### 操作マニュアル

#### ご注意ください！

本マニュアルの裏面には、シリアルナンバーが添付されています。  
セットアップ、ユーザー登録、サポートサービス等に必要となりますので、  
剥がさずに大切に保管してください。

シリアルナンバーの再発行は有料となります。

お問い合わせの際はユーザー登録時の  
お電話番号をご用意ください。

#### BSLユーザーサポートセンター

TEL : 03-3352-6241

FAX : 03-5362-7860

URL : [www.bsl-jp.com](http://www.bsl-jp.com)

E-mail : [karugaru@bsl-jp.com](mailto:karugaru@bsl-jp.com)

月曜日～金曜日

10:00～12:00 / 13:30～16:30

土・日・祝祭日を除く

(FAX・E-mailは翌営業日以内に回答を  
ご案内いたします)



※サポートセンターではソフトの操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。会計処理や税務処理、社会保険処理等に関するご質問は、ご依頼の  
税理士・社会保険労務士や最寄りの税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談下さい。

# 重要 - 製品をお使いになる前に必ずご覧ください

## 製品使用許諾契約書

お客様が入手された、株式会社 B S L システム研究所(以下 B S L )の本ソフトウェア製品(以下本製品)について、下記のライセンス規定及び品質保証規定が適用されます。

本ソフトウェア製品を使用することにより、本契約書の条項に同意したものとみなし、以後返品はお受けいたしません。(CD-ROM 包装を開封した時点で使用とみなされます)この契約に同意されない場合は、未使用の製品を直ちに購入店にご返品ください。

### ライセンス規定

本製品はBSLが著作権を持つ当社の所有物であり、日本国著作権法をはじめ、その他の無体財産権に関する法律によって保護されています。本製品は使用を許諾されるもので、所有権を伴うものではありません。

本製品の後継製品、更新プログラム又は機能追加プログラム等が出荷されそれをお客様に提供した場合、その後継製品等に明示されていない限り本契約がその後継製品等にも適用されます。

### 1. 使用許諾範囲

お客様は自己で使用するために製品に記載された「製品シリアルナンバー」の番号1件につき、コンピュータ1台に複製(インストール)してご使用になります。

またお客様自身が占有して使用し、かつ1台目のコンピュータと同時に使用することの無い2台目のコンピュータ1台に限り、2つ目の複製(インストール)を使用することを許可します。

お客様は本契約に従い、本製品を実行用プログラムとしてコンピュータに複製(インストール)し、使用することができます。また不慮の事故に備える目的で、本製品の複製(バックアップ)を作成することができます。これらの場合を除き、その目的の如何を問わず複製物を作成することを禁止します。

### 2. 禁止事項

本製品は適用される法律に明示に許可されている場合を除き、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

本製品に組み込まれている不正コピー・不正利用を防止するための技術を回避する行為、又は回避して製品を複製する行為を禁止します。また本製品の一部あるいは全てを用いて二次成果物を作成することを禁止します。

### 3. レンタルおよび譲渡

本製品は単体でレンタル及びリースすることはできません。しかし一切のコピーを残すことなく特定のコンピュータと共にリース物件として提供する場合は、この限りではありません。

一度使用した本製品を譲渡又は転売若しくは再販することはできません。

### 4. 有効期間

本契約書による使用許諾は、お客様が本製品の CD-ROM 包装を開封した時点から効力を生じます。

以下のいずれかの事由に該当する場合、本契約書の契約は終了効力を失います。

お客様が本製品の使用を停止した場合。

当社が将来本製品の取扱を中止し使用許諾の停止を告知後30日が経過した場合。

お客様が本契約書の条項に違反した場合、又はBSLの著作権を侵害した場合。

本契約の終了後は本製品をいかなる形においても使用することはできません。終了後お客様はBSLの求めに応じ、製品を破棄又はBSLへ返却しなければなりません。

### 5. シリアル番号および識別情報の通知

本製品をインターネットに接続されたコンピュータで使用する場合、製品の付帯サービスを提供するために、「製品シリアルナンバー」および製品の識別情報が BSL へ送信されることがあります。お客様は、この動作に同意するものといたします。

### 品質保証規定

1. BSLは本製品が付属の製品マニュアルに従って実質的に動作しない場合又は本製品の媒体又はマニュアルに物理的な欠陥や不足があった場合、お買い上げ後60日限りBSLの判断に基づき交換又は補修のいずれかにより対応するものといたします。ただし本製品に再配布可能なファイル(ランタイムモジュール、再配布可能モジュールなど)が含まれている場合、それらは現状のままで提供され一切の保証をいたしません。

2. 上記1項のいずれの対応も、お客様が本製品の購入されたことを証明する書類(領収証等)をBSLに提示した場合にのみ提供されます。

3. 上記1項の事態が火災や地震などの自然災害、第三者による行為やその他の事故、お客様の過失あるいは故意にかかわらず誤用等による、BSLの責に帰さない理由により生じた場合、BSLは保証の責を負わないものとします。

4. 交換又は補修後の保証期間は元の保証期間の満了日もしくは交換・補修後30日間の満了日のいずれか遅く到来する日までといたします。

5. BSLは本製品、本製品の媒体又はマニュアル、その他の印刷物、また本製品に付随して提供されるサービスについて、その商品性及び特定の目的に対する適合性など本保証規定に規定されていない他の保証は、明示・暗示を問わず一切いたしません。

6. 本製品を使用することによりお客様の期待した効果が得られなかつた場合や、原因の種類を問わずいかなる場合においても、BSLはこの製品の使用又は使用不能から生じる本保証規定に規定されていないいかなる損害(事業利益の損失、事業の中断、情報の損失、その他金銭的の損失など)に関して、一切の責任を負わないものといたします。たとえBSLがそのような損害の危険性について知らされていた場合でも同様です。本製品の使用または機能から生じるすべての結果は、お客様自身が負担するものといたします。

7. 本規定に基づくBSLの責任は本製品に対しお客様が実際に支払った金額を上限とします。

8. 本品質保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

# 重要 - 製品をお使いになる前に必ずご覧ください

## 個人情報保護方針 (プライバシーポリシー)について

### はじめに

株式会社ビーエスエルシステム研究所(以下「BSL」という)は、お客様への製品やサービスの提供において取り扱うお客様の個人情報(法人情報を含む。以下「個人情報」という)を、適切に管理・保護することが社会的責務であると考えています。BSLでは、お客様に安心してBSLの製品やサービスをご利用いただけるようにするために、ここに個人情報の保護方針(プライバシーポリシー)を記載いたします。

### 個人情報の定義

本方針の「個人情報」とは、氏名(法人名を含む)・住所・電話番号・Eメールアドレス等の連絡先情報、お客様に付与された一意の番号や符号で他の情報と照合することにより容易にお客様個人を特定することのできる情報など、お客様を識別し特定することのできる情報を指します。

### 管理体制

BSLは個人情報を適切に保護するため、以下の取り組みを推進いたします。

- ・個人情報保護に関する社内規則を定め、個人情報を正確かつ安全に取り扱います。
- ・個人情報保護のための管理組織を設け、社員に対する教育啓蒙活動を実施いたします。
- ・電磁的に保存された個人情報データベース等を運用するにあたり、情報保護のための合理的な技術的の施策をとり、個人情報データベース等への不正な侵入、情報の紛失・改竄・漏洩等の危険防止に努めます。
- ・個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を遵守すると共に、本方針の内容を継続的に見直し、その改善に努めます。

### 個人情報の取得方法

BSLではお客様に個人情報の提供をお願いすることがあります。但し、個人情報の提供の是非はお客様ご自身で選択することができます。BSLは以下の方法によりお客様の個人情報を提供していただくことがあります。

- ・製品のユーザー登録を行っていただく場合。
- ・製品やサプライ用品等を弊社から直接お買い求めいただく場合。
- ・製品の資料請求をしていただく場合。
- ・BSLの提供する各種のサービスをお申し込みいただく場合。
- ・BSLサポートセンターへお問い合わせいただく場合。
- ・アンケート等にお答えいただく場合。
- ・弊社製品やサービスに関するご意見をお寄せいただく場合。

お客様の個人情報は、紙媒体、FAX、Eメール、BSLウェブサイトへの書き込み等の方法により行われるものとします。お客様が個人情報の照会、訂正、削除等を希望される場合には、BSLまでご連絡いただければ、合理的な範囲で速やかに対応いたします。

### 個人情報の利用方法

BSLはお客様からご提供いただいた個人情報を、下記の目的に使用いたします。

- ・製品やサプライ用品また製品資料など、お申し込みまたはご請求いただいたものをお届けするため。
- ・お申し込みまたはご依頼いただいたサービスをご提供するため。

- ・製品やサービスの更新情報、バージョンアップ情報、特典情報等をお知らせするため。
- ・新製品や関連商品、催し物等の案内をお知らせするため。
- ・製品の使用方法等に関する案内をお知らせするため。
- ・製品やサービスの利用動向を把握し、製品やサービスの品質向上のための参考情報とするため。
- ・社会通念に照らして上記に付随する業務の範囲内であるとBSLが判断したBSLが行うその他の業務用途のため。

### 個人情報の開示制限

BSLはお客様からの個人情報を、下記に該当する場合を除き第三者に開示または提供することはありません。

- ・お客様の同意を得た場合。
- ・製品やサプライ用品、製品資料、ダイレクトメール等を送付する際に、配達業者に配達に必要な最小限の情報を提供する場合。
- ・お客様が製品やサプライ用品または各種サービスなどの代金をお支払いただく際に、金融機関やクレジットカード会社等に、決済取引必要な最小限の情報を提供する場合。
- ・前項「個人情報の利用目的」に示す目的を達成するために、本指針と同等以上の秘密保持義務を課した第三者(業務委託先等)に開示または提供する場合。
- ・お客様が、BSLに損害を生じさせ、あるいはそのおそれがあるとBSLが判断した場合。
- ・人の生命、身体または財産の保護のために必要であって、利用者の同意を得ることが困難である場合。
- ・弁護士会・消費者センターなどの公的機関、裁判所・検察庁・警察などの法的機関や地方公共団体、またはその委託を受けた者が、その職務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用者の同意を得ることにより当該職務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合。
- ・法令により開示または提供が求められた場合。

BSLは、流通各社、販社、協力企業、その他の第三者、または弊社の広告等において、弊社の製品やサービスを説明するため、またその他の合法的な目的のために、お客様の統計情報を開示する場合があります。但し、統計情報には、個人を特定できる情報は含まれないものとします。

### 本方針の改定

本方針を改定する場合には、BSLウェブサイト([www.bsl-jp.com](http://www.bsl-jp.com))にて通知いたします。

2005年4月22日

株式会社BSLシステム研究所

## 目次

1 製品をセットアップする	5	12 入出庫画面で入出庫情報を入力する	37
2 導入時に商品の初期在庫数を入力する	11	13 伝票一覧画面の操作	39
3 導入時に商品の初期単価を入力する	12	14 単品分析（入出庫履歴）	41
4 メインメニューの操作	14	15 印刷の操作	43
5 画面レイアウトの設定操作	17	16 台帳を管理する	47
6 検索機能の操作	19	17 各種の設定を行う	50
7 在庫数の確認を行う	20	18 データファイルのバックアップをする	58
8 入庫・出庫・入出庫・廃棄を入力する	24	19 バックアップファイルを復元する	60
9 商品の棚卸を行う	30	20 以前のバージョンからデータを移行する	62
10 バーコードリーダーを使用して棚卸を行う	32	21 インポート・エクスポート	63
11 仕入単価を訂正する	35	22 サポートサービスを利用する	72

### ■「かるがるできる在庫 6.5」の仕様

事業所数	1 事業所(データファイル 1 件のみ)	バーコード印刷	商品コードを Code128 形式・Code39 形式で印刷可能
保管場所数	1 箇所	バーコード読み取り	棚卸調整時のバーコード読み取り可能 ※別途、バーコードリーダーが必要
入出庫明細数	無制限(1,000 明細/月を推奨)	入力機能	入出庫帳形式・入庫伝票形式・出庫伝票形式・入出庫伝票形式・廃棄伝票形式
相手先数	無制限(5,000 件以内を推奨)	在庫チェック機能	在庫切れ自動チェック・発注点切れ自動チェック
相手先コード	最大 15 桁の半角英数字	在庫分析機能	在庫回転率・在庫日数管理・単品分析
相手先名称	全角 50 文字(全角 20 文字以内を推奨)	管理機能	入出庫履歴・棚卸調整・タグ管理・単価訂正
商品数	無制限(5,000 点以内を推奨)	集計機能	在庫確認・適正在庫分析・在庫推移表・商品別相手先出入庫・相手先別商品入出庫・商品分類別在庫数・商品別区分入出庫
商品コード	最大 20 桁の半角英数字(半角 15 桁以内を推奨) ※バーコード印刷利用時は半角英数字 5 桁～15 桁を推奨	評価方法	最終仕入原価法
商品名称	全角 50 文字(全角 20 文字以内を推奨)	使用可能文字	シフト JIS コードの文字
商品分類数	無制限(100 件以内を推奨)	データ量	データファイル 1 つにつき、ファイルサイズは 1GB 以内
商品分類コード	最大 15 桁の半角英数字(半角 10 桁以内を推奨)	データ移行	「かるがるできる在庫 2」以降のデータを移行可能
商品分類名称	全角 50 文字(全角 8 文字以内を推奨)	データ取込	CSV 形式の商品・商品分類・相手先・入出庫履歴・棚卸のデータを取込可能
数量	整数 7 桁+小数 2 桁～整数 9 桁(全 7 桁以内を推奨)	データ出力	Excel, CSV, TSV
仕入単価	整数 7 桁+小数 2 桁～整数 9 桁(全 7 桁以内を推奨)	帳票出力	PDF, XPS(普通紙のみ 専用用紙は不可)
金額	整数 10 桁	ネットワーク利用	ネットワーク共有による同時利用(マルチクライアント)には非対応
合計金額	整数 11 桁		
タグ数	最大 20 件		
タグ名称	全角 50 文字(全角 20 文字以内を推奨)		
棚卸	随时可能(任意日付を指定可能)		

※実際に印刷できる文字数・桁数・項目数は、用紙の型番やレイアウトの設定により異なります。※パッケージ 1 つに付き最大 2 台のコンピューターでご利用いただけます。(ただし 2 台目はユーザー登録者が占有するコンピューターに限ります。同一データファイルの同時利用はできません)※データの安全性確保のため、他の「かるがるできるシリーズ」とのデータ連動はしておりません。※上記仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

### ■対応用紙

在庫確認・伝票一覧・入出庫帳・単価訂正	A4 普通紙
入庫伝票・出庫伝票・入出庫伝票・廃棄伝票	A4 普通紙
棚卸カウントリスト・集計表・台帳	A4 普通紙
バーコード	A4 普通紙、BSL 専用サプライ用紙 LDW12PG エーワン 72212・72318・72321・72324 ※商品コードのバーコードと商品名を印刷

※専用用紙のレイアウトは固定です。普通紙のレイアウト(項目の有無・順序・幅など)は調整可能です。フォントはいずれも固定です。※上記「普通紙」とは、市販のコピー用紙等(白紙)への印刷です。※お使いのプリンター機種により使用可能な用紙は異なります。※対応用紙および書式仕様は変更することがあります。

### 【動作環境】(運用に必要なシステム要件)

●対応 OS:Windows10/8.1/7(SP1)(日本語版) ※Windows10 は、Win32 および.NET アプリケーションが動作可能な Home/Pro に対応します。Windows10S は非対応です。※Windows10 では、バージョン 1703 で動作を確認しています。最新の対応状況については、弊社ウェブサイトをご確認ください。※Windows10 では、大型アップデート等により OS の仕様変更が行われた場合、サポート対象外となることがあります。※7 では SP1 が必要です。※各 OS の 32bit 版と 64bit 版に対応します。※Windows Mobile/Phone/RT/Server には非対応です。※アップグレードインストールした Windows はサポート対象外です。●コンピューター本体(CPU):上記 OS が稼動するコンピューター(2GHz 以上の CPU を推奨) ※キーボードおよびマウス等の使用を推奨します。Windows10 では「デスクトップモード」でご利用ください。※Windows10 では、x86/x64 ベース プロセッサのコンピューターで動作を確認しています。最新の対応状況については、弊社ウェブサイトをご覧ください。●メモリ:2GB 以上を推奨 ●ハードディスク:セットアップのために 200MB 以上の空き容量 実行時に作業領域として 500MB 以上の空き容量 ※上記はシステムドライブ(C ドライブ)に必要な空き容量です。セットアップ先はシステムドライブ固定で、変更はできません。●ディスプレイ:XGA(1024×768)以上の解像度 ※ディスプレイの「項目のサイズ」の設定(DPI)は、150%以下でご利用ください。それ以上のサイズでは正しく表示されない場合があります。●プリンター:上記 OS に対応したプリンター(余白を上下左右 5mm 以下に設定可能なプリンターを推奨) ●セットアップ方法:CD-ROM またはダウロード ※製品同梱の CD-ROM でセットアップする場合は、CD-ROM ドライブ等が必要です。ドライブのないコンピューターの場合は、ダウロードによるセットアップが可能です。●動作に必要なソフトウェア:本製品は Microsoft Access 2010 Runtime の 32bit 版を使用しています。インストール済みでない場合はセットアップの際に自動的にインストールされます。その際、ハードディスクに 2GB の空き容量が別途必要です。Office 2010 の 64bit 版がインストールされている場合、Access 2010 Runtime の 64bit 版のダウロードが必要です。また本製品は.NET Framework2.0 を使用しています。Windows 7 にはあらかじめインストールされています。Windows 10/8.1 でインストール済みの場合は、ダウロードが必要です。その際、ハードディスクに最大 980MB の空き容量が別途必要です。

※Microsoft Access をご利用の場合には、動作に影響を与えることがあります。※各種プログラム等のダウンロードにはインターネット接続環境が必要です。※諸般の事情により、製品の仕様・対応用紙・デザイン・動作環境等は変更することがあります。※記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。※製品内容や動作環境の詳細、印刷見本、およびサポートサービスの詳細については、弊社ウェブサイトをご覧ください。(http://www.bsl-jp.com)

# 1 製品をセットアップする

このマニュアルでは、以下のアイコンが使われています。



本製品を使用する際の重要な説明の記載があるところで使用されています。このアイコンが使われている部分の説明は、必ずお読みください。



本製品を使用する際に知っておくと便利な機能や説明の記載があるところで使用されています。

本製品をご使用になるためには、製品の動作に必要なファイルをコンピューターのハードディスクにコピーして使用できる状態に設定する必要があります。この作業を「セットアップ」と言います。

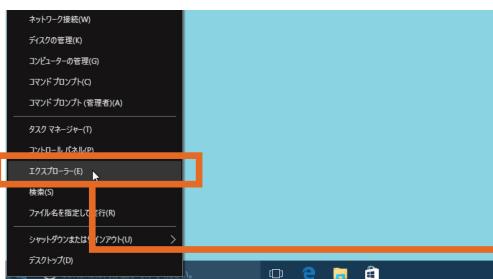
本製品をセットアップする方法には、「CD-ROM を使う方法」と、コンピューターに CD-ROM ドライブなどが搭載されていない場合に便利な「インターネット経由でプログラムをダウンロードしてセットアップする方法」の 2 つがあります。

「CD-ROM を使う方法」は、本マニュアルの続く部分をご覧ください。「インターネット経由でプログラムをダウンロードしてセットアップする方法」については、10 ページの「付属の CD-ROM を使用せずにセットアップする」をご覧ください。

## ① CD-ROM をコンピューターのドライブにセットする



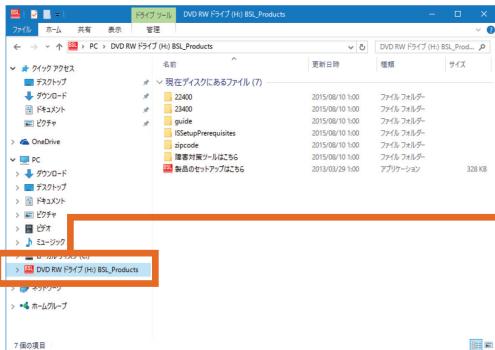
製品のセットアップを行うために、製品同梱の CD-ROM を CD ドライブや DVD ドライブなどの光学ドライブ（以下、ドライブ）にセットします。



Windows 10/8.1 の場合は、スタート[□]ボタンを右クリックして、「エクスプローラー」を選択します。（画面は Windows 10 です）

Windows7 の場合は、スタートメニューをクリックして、「コンピューター」を選択します。

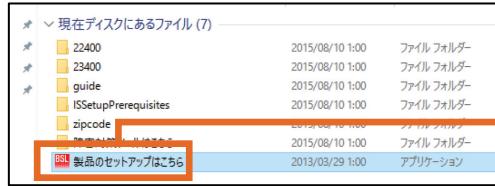
スタートメニューから  
[エクスプローラー]を選択



CD-ROM をセットしたドライブを選択し、CD-ROM に収録されている内容を表示します。

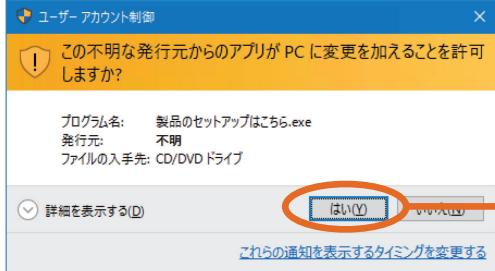
※CD-ROM をセットしたドライブは「BSL\_Products」と表示されます。

CD-ROM をセットした  
ドライブをクリック



[製品のセットアップはこちら]アイコンをダブルクリックします。

[製品のセットアップはこちら]を  
ダブルクリック



「ユーザー アカウント制御」画面が表示されます。  
[はい] ボタンをクリックしてください。

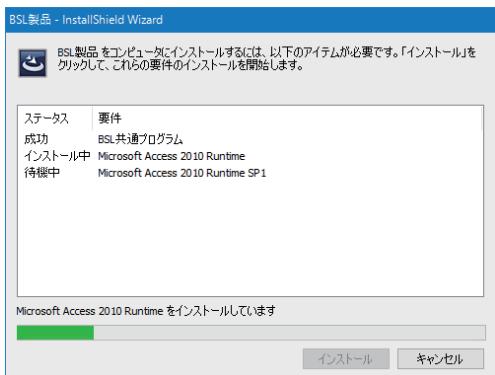
[はい] ボタンをクリック

## ② 製品の動作に必要なソフトウェアをインストールする

本製品をセットアップするためには、以下のソフトウェアをインストールする必要があります。これらは本製品を動作させるために必要な環境を提供するソフトウェアです。(お客様のコンピューター環境によっては、すでにインストールされているものがあります。その場合はインストールされません)

- ・「BSL 共通プログラム」
- ・「Microsoft Access 2010 Runtime」

- ・「Microsoft Access 2010 Runtime SP1」
- ・「.NET Framework 2.0」



[インストール] ボタンをクリックすると、順番にインストールが開始されます。

ソフトウェアのインストール状況は、[ステータス]欄で確認できます。

ステータス	説明
「成功」	すでにインストールが成功しています。
「インストール中」	現在そのソフトウェアをインストールしている最中です。
「待機中」	これからインストールを行う準備をしています。

### ③ 製品の新規セットアップを開始する



製品のインストールを行います。「セットアップメニュー」画面に表示される[新規セットアップ]ボタンをクリックします。(本製品は「かるがるできる在庫 6.5」ですが、インストール中は、製品名が「かるがるできる在庫 6」と表示されます)

以前のバージョンの製品がコンピューターにセットアップされている場合でも、新たにセットアップを行うには[新規セットアップ]ボタンをクリックします。

画面の指示にしたがってセットアップを行い、完了画面が表示されると、セットアップの完了です。



BSL 製品のインストール状況によって、[セットアップ済み製品の更新]ボタンや[セットアップ済み製品の削除]ボタンが表示されます。



#### [セットアップ済み製品の更新]

すでにセットアップされている BSL 製品のファイルの更新を行います。製品の動作に問題が発生したり、製品が動作しなくなったりした場合などに行います。

#### [セットアップ済み製品の削除]

すでにセットアップされている BSL 製品の削除を行います。ただし、ユーザーによって作成されたデータファイルは削除されません。

#### [終了]

セットアップメニューを閉じて終了します。

### ④ 製品を起動する



製品のセットアップが完了すると、デスクトップ上に製品名の書かれたアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、製品が起動します。



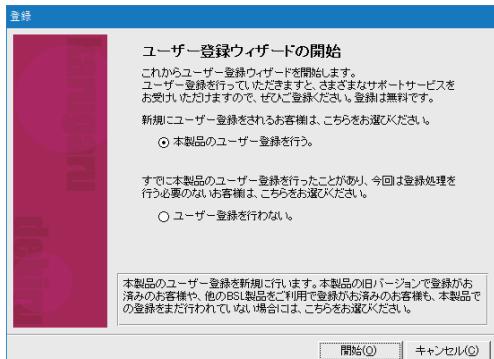
製品の起動時には、以下の点にご注意ください。

- 起動時に「ユーザー アカウント制御」画面が表示される場合があります。その場合、[はい]ボタンをクリックしてください。
- 製品の初回起動時には、起動までに時間がかかる場合があります。
- 本製品は、同じコンピューター上で複数の起動ができません。起動時に、製品がすでに起動中であるというエラーメッセージが表示された場合には、1分ほど待ってから再度起動してください。それでも解決しない場合は、Windows の再起動を行ってください。
- セットアップには管理者(Administrator)権限が必要ですが、セットアップ後は一般ユーザー(User)権限があれば使用できます。ただしセットアップ時のユーザーの選択で、「(ユーザー名)のみ」を選択している場合は、セットアップしたときと同じユーザー アカウントでログインしなければ、スタートメニュー やショートカットが表示されず、製品を起動できません。

## ⑤ 初期設定を行う

本製品をセットアップ後、はじめて製品を起動すると「ユーザー登録ウィザード」と「お知らせ機能」の設定、および「アップデートプログラムの確認」が表示されます。

### ■ ユーザー登録ウィザードの開始



ユーザー登録を行うには、[開始]ボタンをクリックします。

ユーザー登録は、オンライン経由での登録と、登録用紙を印刷してFAXや郵便で送付する方法をお選びいただけます。

製品を再セットアップする際など、すでにユーザー登録を行っている場合は、[ユーザー登録を行わない]を選択すると[終了]ボタンに変わるので、クリックして先に進んでください。

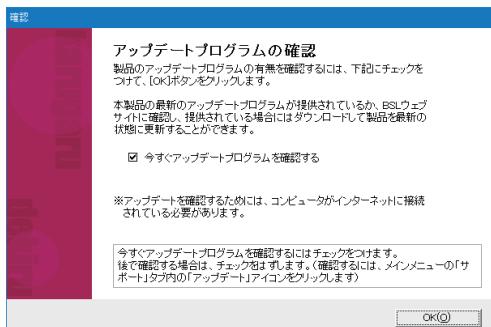
後からユーザー登録を行いたい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。製品起動後、メインメニューの[サポート]タブ内にある[ユーザー登録]アイコンをクリックすると、ユーザー登録を行うことができます。



ユーザー登録は必ずしなければなりませんか？

ユーザー登録を行うことにより、お客様が BSL 製品の正規ユーザーであることが証明され、サポートサービスを受ける権利を取得できます。サポートサービスをお受けになるためには、ユーザー登録が必要です。(ユーザー登録は無料です) 弊社から直接製品を購入された場合やアップグレードで製品を購入された場合でも、ユーザー登録をお願いします。

### ■ アップデートプログラムの確認



「アップデートプログラムの確認」が表示されます。

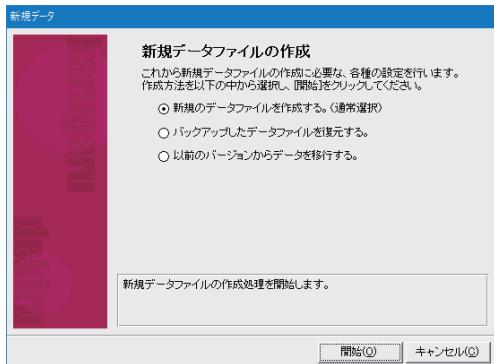
アップデートプログラムの有無を確認するには、[今すぐアップデートプログラムを確認する]にチェックを付けて[OK]ボタンをクリックします。

アップデートプログラムが存在する場合は、製品が自動終了し、プログラムの更新後に再起動します。



本製品をセットアップ後、初回起動した際に「かるがるできる在庫 5.5」のデータファイルが自動検出された場合は、自動的にデータファイルを移行します。移行後、メインメニューが表示されます。

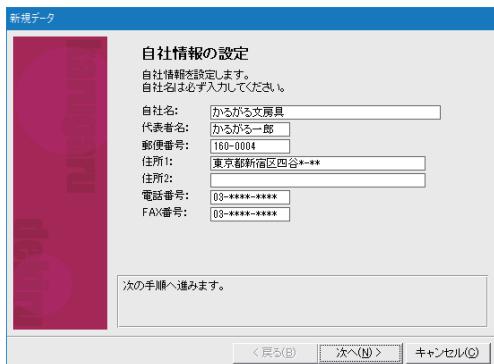
## ⑥ データファイルを作成する



本製品に入力した各種の情報を保存するためのデータファイルを作成します。

※データファイルは既定のドキュメントフォルダーに保存されます。保存場所をほかのフォルダーやクラウドストレージの同期フォルダーに変更したい場合には、56 ページの「データ保守」にある「フォルダー設定」をご覧ください。

### ■ 新規のデータファイルを作成する



新規データファイルの作成を開始すると、新規データファイル作成ウィザードが表示されます。

画面に表示される指示にしたがって入力を行ってください。入力箇所にマウスのカーソルを移動すると、画面下に説明が表示されます。

必要箇所の入力が完了したら、画面右下の「次へ」ボタンをクリックして、次の画面に進みます。以降は画面の指示にしたがって進んでください。

### ■ バックアップしたデータを復元する

以前にバックアップしておいた本製品のデータファイルを復元して使用できる状態にします。(詳しくは、60 ページの「バックアップファイルを復元する」をご覧ください)

### ■ 以前のバージョンからデータを移行する

以前のバージョンで入力したデータを本製品に移行することができます。(詳しくは、62 ページの「以前のバージョンからデータを移行する」をご覧ください)



本製品をセットアップ後、初回起動した際に「かるがるできる在庫 5.5」のデータファイルが自動検出された場合は、自動的にデータファイルを移行します。移行後、メインメニューが表示されます。

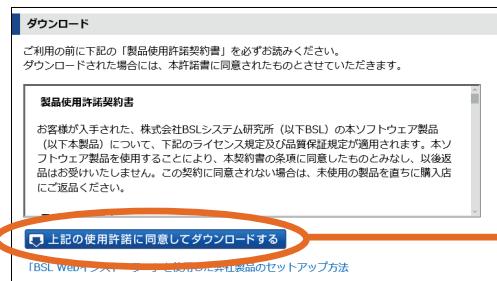
## ◆ 付属の CD-ROM を使用せずにセットアップする

CD-ROM ドライブが付属していないコンピューターの場合、「BSL Web インストーラー」を使用してセットアップすることができます。「BSL Web インストーラー」は弊社ウェブサイトのダウンロードページよりダウンロードできます。（<http://www.bsl-jo.com/inst/>）



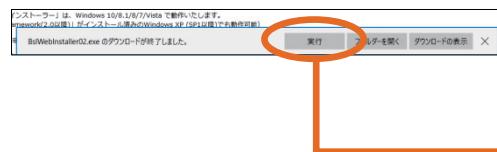
「BSL Web インストーラー」の使用方法などの詳細は、弊社ウェブサイトにてご確認ください。

[ダウンロード]をクリックし、左に表示されるメニューから[BSL Web インストーラー]をクリック



「BSL Web インストーラー」のページにある「製品使用許諾契約書」を必ずお読みいただき、同意される場合は、[上記の使用許諾に同意してダウンロードする]ボタンをクリックします。

[上記の使用許諾に同意してダウンロードする]ボタンをクリック



＜マイクロソフト Internet Explorer の場合＞  
ダウンロードが終了すると、ブラウザーの [実行] ボタンをクリックします。

[実行]ボタンをクリック



＜グーグル Chrome の場合＞  
ダウンロードが終了すると、ダウンロードしたファイルをクリックします。

ファイルをクリック

※ブラウザーによって表示される内容は変わります。

## 2 導入時に商品の初期在庫数を入力する

製品をはじめて使用する場合は、導入に当たり、以下の手順で商品と初期在庫数を入力できます。

### ① 初期在庫を設定する

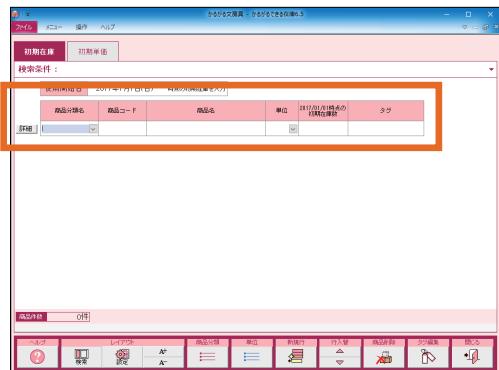


メインメニューの[導入]タブ内にある[初期在庫]アイコンをクリックして、入出庫帳を開きます。

[初期在庫]アイコンをクリック

[インポート]アイコンから、CSV ファイルをインポートする場合は、63 ページの「インポート・エクスポート」をご覧ください。

### ② 商品の情報を入力する



「初期在庫」画面を表示します。

商品の情報を、項目ごとに入力します。  
項目ごとの説明については、以下の表で確認してください。

[詳細] ボタンをクリックすると、商品台帳を表示します。  
より詳細な商品情報を編集できます。  
商品台帳の操作については、47 ページの「台帳を管理する」をご覧ください。

項目名	説明
商品分類名	商品分類名を使用している場合に入力します。(空欄可) 商品分類名は、全角 50 文字まで入力できます。直接入力するか、[▼]ボタンをクリックし、表示されるリストから選択します。リストに登録が無い商品分類名を入力すると、自動的に商品分類台帳に登録します。商品分類台帳については、49 ページの「商品分類台帳を編集する」をご覧ください。
商品コード	商品コードを使用している場合に入力します。(空欄可) 商品コードは、最大 20 桁の半角英数字を入力できます。(半角 15 桁以内を推奨) 商品コードをバーコードで管理する場合、5~15 桁を推奨します。バーコードの印刷については、32 ページの「バーコードリーダーを使用して棚卸を行う」をご覧ください。
商品名	商品名を入力します。商品名は、全角 50 文字まで入力できます。(全角 25 文字以内を推奨)
単位	商品の単位を入力します。(空欄可) 単位は、全角 10 文字まで入力できます。(全角 3 文字以内を推奨) 直接入力するか、[▼]ボタンをクリックし、表示されるリストから選択します。リストに登録が無い単位を入力すると、自動的に単位台帳に登録します。単位台帳については、49 ページの「単位台帳を編集する」をご覧ください。
(使用開始日)時点での初期在庫数	使用開始日時点での商品の在庫数を入力します。
タグ	この画面では編集できません。 タグについては 23 ページの「商品にタグを設定する」をご覧ください。

### 3 導入時に商品の初期単価を入力する

初期単価の入力は、使用開始日時点での単価を入力します。初期単価を入力することで、使用開始日時点での棚卸資産の計算ができます。初期単価を入力するには、あらかじめ商品情報を登録する必要があります。

金額管理機能を有効にするには、51ページの「自社設定」をご覧ください。

使用開始日以降に仕入単価の入力を行うには、単価訂正機能を使用してください。単価訂正機能については35ページの「仕入単価を訂正する」をご覧ください。



初期単価を入力するには、[初期単価] アイコンをクリックします。

[初期単価] アイコンをクリック



「初期単価」画面を表示します。

[使用開始日] 欄には、新規データファイル作成時に設定した日付が入力されます。入力された日付で単価訂正の伝票を作成します。



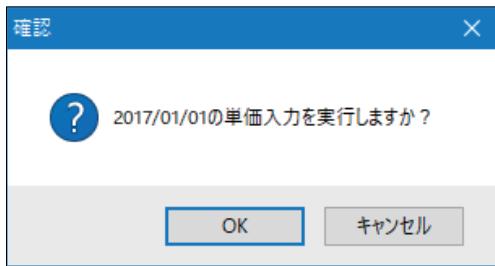
初期単価を入力

初期単価の入力を行う商品の [初期単価] 欄に、金額を入力します。入力が必要のない商品は空欄のままにします。



単価の入力後、操作ボタンの[単価入力実行]ボタンをクリックします。

※入力した単価をすべて消去するには、操作ボタンの[データ消去]ボタンをクリックします。



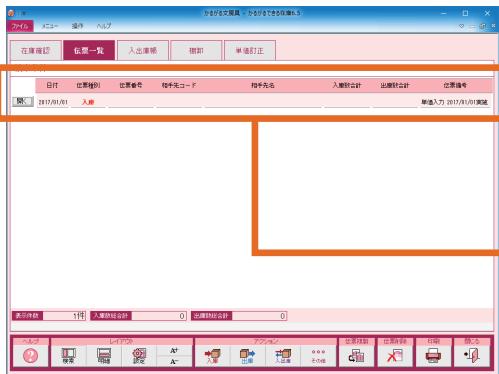
[単価入力実行]ボタンをクリックすると、確認画面を表示します。

初期単価の入力を行う場合は、[OK]ボタンをクリックします。

クリックすると、「単価入力は正常に終了しました。」とメッセージを表示します。

初期単価の入力を行わない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。「初期単価」画面に戻ります。

## ■ 実行した初期単価の内容を確認するには



入力した初期単価は伝票として登録します。登録した伝票は、メインメニューの[日常処理]タブにある「伝票一覧」画面で確認できます。

[伝票種別]欄に「入库」、[伝票備考]欄に「単価入力」と使用開始日が表示されています。

[伝票種別]欄に「入库」、  
[伝票備考]欄に「単価入力」と  
使用開始日が表示

「伝票一覧」画面の操作方法については、29ページの「伝票を一覧で確認する」をご覧ください。

# 4 メインメニューの操作

本製品を起動すると、最初にメインメニューを表示します。  
メインメニューからは、本製品で使用できる各種の機能を呼び出せます。



## ◆ 操作画面の種類と構成

### ■ 日常処理タブ

メニュー	説明
在庫確認	「在庫確認」画面を表示します。商品ごとの在庫数を一覧で確認できます。 各種伝票による入出庫が行えます。また商品の動きについて分析が行えます。
伝票一覧	「伝票一覧」画面を表示します。作成した伝票を一覧で確認できます。 各種伝票による入出庫が行えます。
入出庫帳	「入出庫帳」画面を表示します。入出庫の履歴を一覧で確認できます。 各種伝票による入出庫が行えます。また商品ごとの分析が行えます。
棚卸	「棚卸」画面を表示します。商品の棚卸した場合に、在庫数を入力します。 バーコードリーダーやデータ取り込みによっても棚卸の入力が行えます。
単価訂正	金額管理機能が有効の場合に、[単価訂正]アイコンが表示されます。 「単価訂正」画面を表示すると、商品の仕入単価の変更を一括で行えます。
入庫	「入庫伝票」画面を表示します。 入庫伝票の入力ができます。
出庫	「出庫伝票」画面を表示します。 出庫伝票の入力ができます。
入出庫	「入出庫伝票」画面を表示します。 入出庫伝票の入力ができます。
設定	「設定」画面を表示します。 機能や印刷に関わる設定など、製品の動作に関係する設定が行えます。

### ■ 集計表タブ

メニュー	説明
適正在庫分析	「適正在庫分析」画面を表示します。 商品の在庫日数を集計します。
商品分類別在庫数	「商品分類別在庫数」画面を表示します。 商品分類別ごとの在庫数を集計します。
商品別相手先入出庫	相手先台帳が有効の場合に、[商品別相手先入出庫]アイコンが表示されます。 「商品別相手先入出庫」画面を表示すると、商品別に入出庫した数量を、相手先ごとに集計します。 入庫・出庫した商品の「入庫概算額」、「出庫概算額」と、それぞれの合計を表示することもできます。 概算額を表示するには、「設定」画面で機能を有効にします。詳しくは、51 ページの「自社設定」をご覧ください。
在庫推移表	「在庫推移表」画面を表示します。 商品別に月ごとの入庫数、出庫数、月末在庫数を 1 年分集計します。
商品別区分入出庫	「商品別区分入出庫」画面を表示します。 商品別に入庫、出庫、廃棄の区分ごとの入庫数・出庫数を集計します。
相手先別商品入出庫	相手先台帳が有効の場合に、[相手先別商品入出庫]アイコンが表示されます。 「相手先別商品入出庫」画面を表示すると、相手先別に入出庫した数量を、商品ごとに集計します。 入庫・出庫した商品の「入庫概算額」、「出庫概算額」と、それぞれの合計を表示することもできます。 概算額を表示するには、「設定」画面で機能を有効にします。詳しくは、51 ページの「自社設定」をご覧ください。
設定	「設定」画面を表示します。 機能や印刷に関わる設定など、製品の動作に関係する設定が行えます。

## ■ 特別処理タブ

メニュー	説明
商品台帳	「商品台帳」画面を表示します。 在庫を管理する商品の登録が行えます。
相手先台帳	相手先台帳が有効の場合に、「相手先台帳」アイコンが表示されます。 「相手先台帳」画面を表示すると、商品の入庫先、出庫先の登録が行えます。
タグ一覧	タグ機能が有効の場合に、「タグ一覧」画面が表示されます。 「タグ一覧」画面を表示すると、商品の検索などに使用するタグの登録が行えます。
設定	「設定」画面を表示します。 機能や印刷に関わる設定など、製品の動作に関係する設定が行えます。

## ■ 導入タブ(新規データ作成をした際に表示します)

メニュー	説明
初期在庫	「初期在庫」画面を表示します。 新規データ作成後に、初期在庫の入力をします。
初期単価	金額管理機能が有効の場合に、「初期単価」アイコンが表示されます。 「初期単価」画面を表示すると、新規データ作成後に、初期単価を入力する場合に使用します。
インポート	「CSVインポート」画面を表示します。 新規データ作成後に、CSVファイルから各種台帳、入出庫帳のインポートができます。
設定	「設定」画面を表示します。 機能や印刷に関わる設定など、製品の動作に関係する設定が行えます。

※「導入」タブは、「設定」画面で非表示にできます。詳しくは、51 ページの「自社設定」をご覧ください。

## ■ データ保守タブ

メニュー	説明
データを開く	現在作成中のデータファイルを、すでに作成したバックアップファイルに切り替えることができます。
バックアップ	現在作成中のデータファイルのバックアップができます。
復元	バックアップしたデータファイルを復元することができます。

## ■ サポートタブ

メニュー	説明
ユーザー登録	「ユーザー登録ウィザード」画面を表示します。 ユーザー登録は、オンライン経由での登録と、登録用紙を印刷してFAXや郵便で送付する方法を選択できます。
アップデート	製品を最新の状態にアップデートできます。 アップデートには、インターネット接続環境が必要です。
サポート情報	弊社ユーザーサポートのウェブサイトを開きます。 FAQなどを検索して製品の使い方などを調べることができます。 ユーザーサポートのウェブページへの接続には、インターネット接続環境が必要です。
問い合わせ	「サポート問い合わせウィザード」画面を表示します。 FAXやEメールによるお問い合わせを行うことができます。
オンライン購入	専用用紙などを注文できる、弊社オンラインショップのウェブサイトを開きます。 オンラインショップのウェブサイトへの接続には、インターネット接続環境が必要です。
操作マニュアル	「操作マニュアル」(本書)のPDFファイルをダウンロードできます。 PDFファイルを閲覧するには、Adobe Readerなどの専用ソフトが別途必要です。

# 5 画面レイアウトの設定操作

本製品は、画面ごとに表示する列幅や項目の表示/非表示など、画面のレイアウトを変更して表示できます。以下の部分では、「在庫確認」画面を例にレイアウトの設定を説明します。



レイアウトの設定を行うには、操作ボタンの「レイアウト」にある、[設定] ボタンをクリックします。

[設定] ボタンをクリック



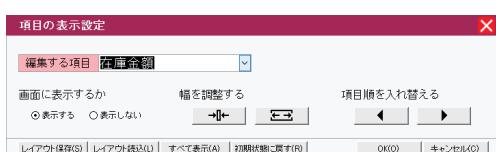
「項目の表示設定」画面が表示されます。



レイアウトの設定を行う項目の、[編集する項目] 欄をクリックし、表示されるリストから選択します。

※ [編集する項目] 欄で表示されるリストは、画面によって異なります。

[▼] ボタンをクリック



項目のレイアウトを、各ボタンなどで設定します。

設定を保存するには、[OK] ボタンをクリックします。

設定を初期状態に戻すには、[初期状態に戻す] ボタンをクリックします。

## ■ 変更したレイアウトを保存する／保存したレイアウトを読み込む

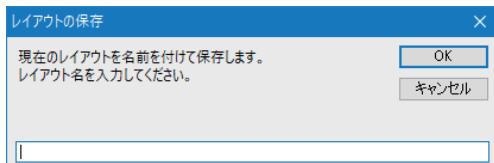
変更したレイアウトは保存できます。

保存したレイアウトを読み込むことによって、複数のレイアウトを切り替えることができます。例えば、伝票入力画面で、表示用のレイアウトと印刷用のレイアウトを切り替えて表示することができます。



変更したレイアウトを保存するには、[レイアウト保存] ボタンをクリックします。

[レイアウト保存] ボタンをクリック



「レイアウトの保存」画面で、レイアウト名を入力します。  
入力後、[OK] ボタンをクリックして保存します。  
レイアウト名は分かりやすい名称をお勧めします。



保存したレイアウトに変更するには、[レイアウト読み込] ボタンをクリックします。

[レイアウト読み込] ボタンをクリック



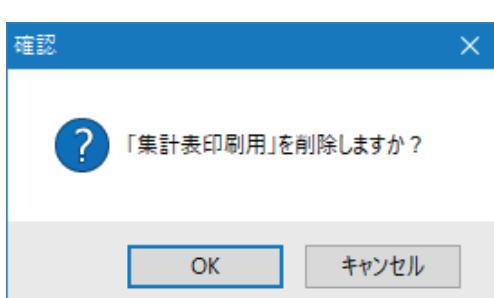
「レイアウトの読み込」画面が表示されます。

「レイアウトの読み込」画面で、変更したいレイアウトの [読み込] ボタンをクリックします。

保存したレイアウト名の変更をするには、「レイアウトの読み込」画面で、変更するレイアウト名を選択し、[名称変更] ボタンをクリックします。

「レイアウト名の変更」画面で、変更するレイアウト名を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

※本製品に最初から登録されている標準の印刷用レイアウトは、削除または変更はできません。



保存したレイアウト名の削除をするには、「レイアウトの読み込」画面で、削除するレイアウト名を選択し、[削除] ボタンをクリックします。

「確認」画面で、[OK] ボタンをクリックします。

# 6 検索機能の操作

検索条件を設定して、一覧画面に表示する商品や伝票などを絞り込みます。絞り込むことによって、表示している情報を整理し、商品や伝票、入出庫の履歴などを見つけやすくなります。また、検索機能を使用して、よく出る商品などを絞り込みます。



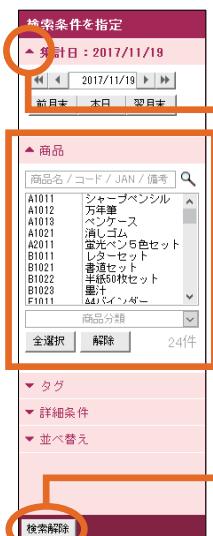
[検索]ボタンをクリック

検索機能を使用するには、操作ボタンの「レイアウト」にある、[検索] ボタンをクリックします。クリックすると、画面に検索条件を表示します。検索条件を非表示にするには、もう一度 [検索] ボタンをクリックします。



画面左に、[検索条件を指定] 欄が表示されます。  
検索条件は、現在表示している画面によって変わります。

検索条件を指定する欄



[検索条件を指定] 欄では、集計日や商品などの検索条件を指定します。

クリックすると検索条件の  
詳細を表示

各項目の [▼] ボタンをクリックすると、検索条件ごとの詳細を表示します。

[▲] ボタンをクリックすると、詳細の表示を非表示にします。検索条件を設定した項目は、項目名を太字で表示します。

検索条件を設定

検索条件を設定すると、一覧画面の情報を検索条件に合わせて変更します。

[検索解除] ボタンをクリックすると、設定した検索条件をすべて解除します。

クリックするとすべて解除

# 7 在庫数の確認を行う

在庫数の確認は、「在庫確認」画面で行います。また、「在庫確認」画面で入出庫の入力や商品ごとの分析が行えます。



「在庫確認」画面を表示するには、メインメニューの【日常処理】タブ内にある【在庫確認】アイコンをクリックします。



「在庫確認」画面を表示します。

「在庫確認」画面で、商品の在庫数の確認や操作ボタンの「アクション」にある各ボタンで、各種伝票（入庫伝票、出庫伝票、入出庫伝票、廃棄伝票）の作成、商品ごとの分析が行えます。

## ◆ 「在庫確認」画面の構成

商品の明細行は、ひとつの商品の情報を表示します。表示する情報には、商品名、在庫数、発注点などの情報があります。

□	商品	単位	在庫数	発注点	仕入単価	在庫金額	タグ
□	A1011 シャーペンシル	本	90	100	78	7,020	
□	A1012 万年筆	本	306	25	387	118,422	

項目	説明
商品	商品台帳に登録されている商品コードと商品名を表示します。
単位	商品台帳に登録されている単位を表示します。
在庫数	現在の在庫数を表示します。 商品台帳で発注点を登録している場合、在庫数が発注点以下になると赤字で表示します。
発注点	商品台帳に登録されている発注点を表示します。

項目	説明
仕入単価	金額管理機能を有効にしている場合に表示します。 金額管理機能を有効にするには、51ページの「自社設定」をご覧ください。 直近の入庫履歴の仕入単価を表示します。在庫金額を算出するために使用します。
在庫金額	金額管理機能を有効にしている場合に表示します。 金額管理機能を有効にするには、51ページの「自社設定」をご覧ください。 在庫している商品ごとに、仕入金額を表示します。 仕入単価をもとに計算します。
タグ	タグ機能を有効にしている場合に表示します。 タグ機能を有効にする場合は、51ページの「自社設定」をご覧ください。 商品に登録されているタグを表示します。タグは複数の商品に一括で設定できます。 タグの使い方については、23ページの「商品にタグを設定する」をご覧ください。

## ■商品を選択する

「在庫確認」画面では、複数の商品を選択できます。選択した商品で入庫伝票・出庫伝票の作成などが行えます。



商品を選択するには、「在庫確認」画面の【選択】欄をクリックします。

【選択】欄をクリックするとチェックが付きます。  
複数の商品の【選択】欄をクリックすると、複数の選択ができます。

<input type="checkbox"/> ペンケース
A1021
<input checked="" type="checkbox"/> 消しゴム
A2011

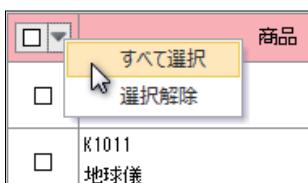
【選択】欄の□をクリックして  
チェック

<input type="checkbox"/> N1021 システム手帳	冊
<input type="checkbox"/> P1011 油絵セット	セット
<input type="checkbox"/> P1021 水彩筆3本セット	セット
<input type="checkbox"/> P1022 水彩絵具12色セット	セット

表示件数 24件 選択件数 6件

選択した商品の件数は、【選択件数】欄で確認できます。  
選択を解除するには、[×]ボタンをクリックします。

[×]ボタンをクリックして  
選択解除

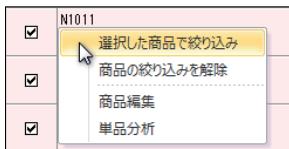


「在庫確認」画面の【選択】欄の最上段にある、[▼]ボタンをクリックするとリストを表示します。一覧のすべてにチェックをつけたり、選択の解除をしたりすることもできます。検索機能と組み合わせて使用すると便利です。

項目	説明
すべて選択	一覧に表示しているすべての明細行を選択します。
選択解除	選択している明細行を解除します。

## ■選択した商品のみ表示する

商品の選択欄にチェックを付けた場合、チェックを付けた商品のみ表示できます。

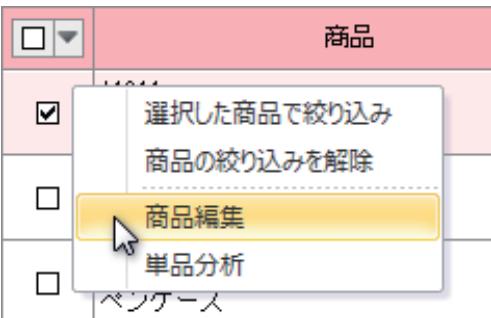


チェックを付けた商品のみ表示するには、画面内を右クリックし、表示するメニューから「選択した商品で絞り込み」をクリックします。

すべての商品を表示するには、「在庫確認」画面を右クリックし、表示するメニューから「商品の絞り込みを解除」をクリックします。

## ■選択した商品の情報を編集する

商品の選択欄にチェックを付けた状態で、商品の情報を編集できます。



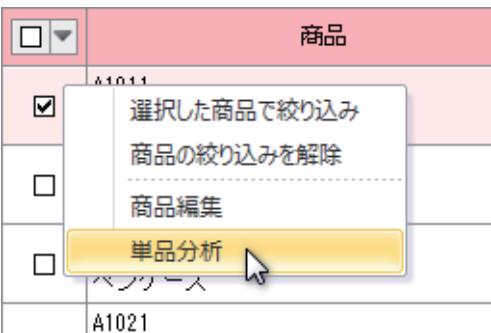
商品の情報を編集するには、商品を 1 つ選択した状態で「在庫確認」画面を右クリックし、表示するメニューから「商品編集」をクリックします。

※「適正在庫分析」画面でも商品の編集ができます。

商品情報の編集については、47 ページの「台帳を管理する」をご覧ください。

## ■選択した商品の単品分析を行う

商品の選択欄にチェックを付けた状態で、単品分析ができます。



単品分析を行うには、商品を 1 つ選択した状態で「在庫確認」画面を右クリックし、表示するメニューから「単品分析」をクリックします。

※「適正在庫分析」画面でも単品分析ができます。

単品分析については、41 ページの「単品分析(入出庫履歴)」をご覧ください。

## ◆ 商品にタグを設定する

商品ごとに設定できるタグの使用例について説明します。商品にタグをつけると、複数の商品を1つのグループとして扱えます。タグでグループ化することで、検索や入力の際に、同一のタグが付いた複数の商品を素早く抽出できるので、操作性・利便性が向上します。

例えば、セットで出庫する商品に共通のタグを設定して、在庫の確認や出入庫入力の履歴などでの検索を行いやくします。

ほかにも、集計機能を使用して出庫数の多い商品にタグを付け、検索しやすくすることで、在庫数を把握することもできます。タグは一つの商品に複数設定できるので、より柔軟な検索に役立ちます。

タグを設定する商品数が多い場合は、あらかじめタグを作成することもできます。タグの登録や削除については、47ページの「台帳を管理する」をご覧ください。



「在庫確認」画面で、タグを設定する商品を選択して、[タグ編集] ボタンをクリックします。「在庫確認」画面では、複数の商品に一括で同一のタグを設定できます。

[タグ一覧] で、商品にタグ付けするタグの [選択] 欄にチェックを付けます。

[保存] ボタンをクリックすると、商品にタグ付けします。タグはひとつの商品に対して、最大 20 件付けられます。

一覧されるタグが多い場合、[タグの絞り込みまたは追加] 欄に、タグを入力して抽出できます。(タグの一部の言葉でも抽出できます)

一覧に目的のタグが無い場合、追加登録できます。

[タグの絞り込みまたは追加] 欄に追加登録するタグを入力して、[追加] ボタンをクリックし、新たにタグを追加します。

[タグ一覧] に新たに表示されたタグを選択して [保存] ボタンをクリックすると、商品にタグ付けできます。

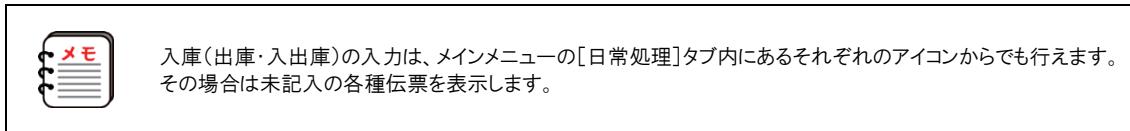
# 8 入庫・出庫・出入庫・廃棄を入力する

「在庫確認」画面で、商品が納品された場合など入出庫があった際の入力を行います。ここでは商品が入庫した場合の入力を例に説明します。



「在庫確認」画面で、入庫する商品を選択します。  
検索機能を使用すると、条件にあった商品のみ表示できます。  
検索機能については 19 ページの「検索機能の操作」をご覧ください。

入庫する商品の  
[選択]欄をクリック



操作ボタンの「アクション」にある [入库] ボタンをクリックします。

※廃棄を入力する場合は、[その他] ボタンをクリックすると [廃棄] ボタンを表示します。

[入库] ボタンをクリック



「入庫伝票」画面を表示します。

「在庫確認」画面で選択した商品が、自動的に入力されます。

※商品を選択せずに [入库] ボタンをクリックすると、何も入力していない空欄の入庫伝票を表示します。

入庫伝票	伝票番号	日付	仕入先
	804-171119-1	2017/11/19	.....

[伝票番号] 欄に伝票番号を入力します。  
伝票番号が未入力でも、伝票は作成できます。

「伝票番号」欄に伝票番号を入力

入庫伝票	伝票番号 804-171119-1	日付 2017/11/19	備考
------	----------------------	------------------	----

〔日付〕欄に入庫する日付を入力します。  
※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力され  
れます。必要に応じて変更してください。

「日付」欄に入庫する日付を入力

伝票番号	日付	仕入先	
804-171119-1	2017/11/19	<input type="checkbox"/> 相手先名 地球堂東京本店 バラダイス商会 <input type="checkbox"/> 三つ葉商会 <input type="checkbox"/> ユビバン <input type="checkbox"/> らんたん事務機 <input type="checkbox"/> イトーヨーク堂八王子店 <input type="checkbox"/> 越後屋崎町店	
入庫数	単位	仕入単価	
	本		

相手先台帳を有効にしている場合は、仕入先を選択します。仕入先を選択するには、[仕入先]欄の[▼]ボタンをクリックし、表示されるリストから選択します。登録の無い仕入先は、直接[仕入先]欄に入力することもできます。詳細については、27ページの「新しい商品や相手先を入力する（随时マスタ登録を行う）」をご覧ください。

「▼」ボタンをクリック　表示されるリストから選択

相手先を自動的に並べ替える

相手先台帳で仕入先または出庫先を設定すると、リストに表示する相手先を自動的に並べ替えて表示します。例えば、「入庫伝票」で仕入先の一覧を表示した場合、相手先台帳で「相手先種別」を「仕入先」に設定した相手先を上位に表示します。

相手先台帳については、47 ページの「台帳を管理する」をご覧ください。

商品	入庫数	単位	仕入単価	仕入額
A1011 シャーペンシル	100	本	78	
A1013 ペンケース		個		

「入庫数」欄に入庫数を入力します。

〔仕入単価〕 欄に仕入単価を入力します。

【仕入単価】欄は、金額管理機能を有効にしている場合に表示します。

明細に関する覚書などの参考情報は、[備考] 欄に入力します。

商品ごとの備考と伝票全体の備考が入力できます

備考表 3

A1021	150
消しゴム	
<input type="button" value="▼"/>	
商品名 シャープペンシル 万年筆 ペンケース 消しゴム 蛍光ペン5色セット	

伝票に追加する商品がある場合は、新規行で[商品]欄の[▼]ボタンをクリックし、表示されるリストから選択して追加します。追加した商品の入庫数なども入力します。登録の無い商品は、直接[商品]欄に入力することもできます。詳細については、27ページの「新しい商品や相手先を入力する（随时マスタ登録を行う）」をご覧ください。

※[商品]欄の上段に商品コードを直接入力し、[Enter]キーを押すと、該当する商品が選択されます。

[▼]ボタンをクリックし、表示されるリストから選択

入庫伝票

伝票番号 S04-171119-1	日付 2017/11/19	仕入先 S04 ユウビン			
商品	入庫数	単位	仕入単価	仕入金額	備考
A1011 シャープペンシル	100	本	78	7,800	
A1013 ペンケース	50	個	124	6,200	
A1021 消しゴム	150	個	58	8,700	

[閉じる]ボタンをクリック

入庫する商品の入力完了後、操作ボタンの[閉じる]ボタンをクリックします。

確認

？ 数量が入力されていない明細行が、1件存在します。  
数量が未入力の行を自動的に削除して、伝票を保存しますか？

OK キャンセル

「確認」画面を表示します。

伝票を登録する場合は、[はい]ボタンをクリックします。  
伝票を登録しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。入力中の伝票を削除します。

[キャンセル]ボタンをクリックすると、「入庫伝票」画面に戻ります。

登録した入庫伝票は、「伝票一覧」画面で確認できます。

確認

？ 数量が入力されていない明細行が、1件存在します。  
数量が未入力の行を自動的に削除して、伝票を保存しますか？

OK キャンセル

未入力の入庫数が明細行にある場合、「確認」画面を表示します。

[OK]ボタンをクリックすると、対象の明細行を削除して伝票を登録します。

[キャンセル]ボタンをクリックすると、「入庫伝票」画面に戻ります。

登録した伝票は、「伝票一覧」画面で確認できます。

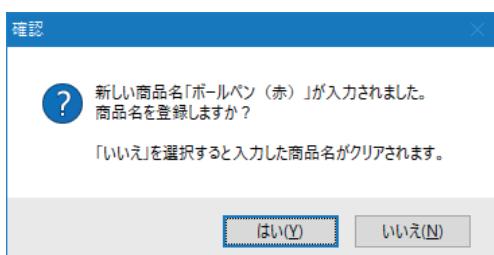
## ◆ 新しい商品や相手先を入力する(隨時マスタ登録を行う)

新しい商品や相手先は、台帳に登録が無い場合でも、明細に直接入力ができます。さらに入力した情報は、隨時マスタ登録により台帳に登録できます。



例えば、新しい商品を入力するには、伝票の【商品】欄に、新しい商品の商品名を入力します。

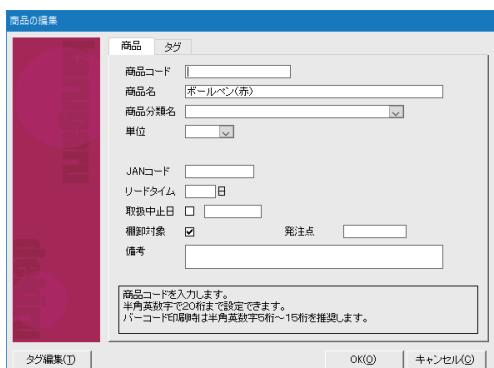
※新しい相手先の登録も同様の手順で行います。



「確認」画面を表示します。

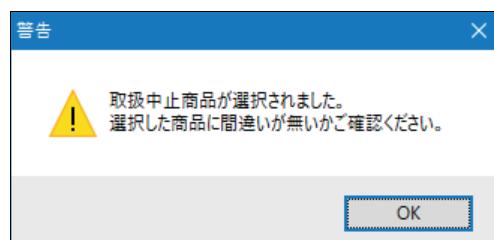
登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。

登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。その場合は、入力した商品名は消去されます。



「商品の編集」画面を表示するので、商品に関する詳細な情報を入力します。登録した商品（相手先）は、商品台帳（相手先台帳）で確認できます。台帳の操作については、47ページの「台帳を管理する」をご覧ください。

## ◆ 取扱中止の商品の警告メッセージ



各伝票や出入庫帳で、商品台帳で取扱中止の商品の入出庫を入力しようとするとき、警告画面が表示されます。

## ◆ 商品の在庫をすべて廃棄する

廃棄伝票に入力した商品の在庫すべてを廃棄する場合、全数廃棄機能を使用します。

廃棄伝票を表示するには、[その他] ボタンをクリックした後、[廃棄] ボタンをクリックします。



廃棄伝票に廃棄する商品を入力後、[全数廃棄]ボタンをクリックします。

[全数廃棄]ボタンを  
クリック

「確認」画面を表示します。

[OK] ボタンをクリックすると、伝票の日付時点の在庫数を、廃棄伝票に転記します。

転記後、入力した数量は手動で修正ができます。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、転記せず「廃棄伝票」画面に戻ります。

## ◆ 明細の編集機能を利用する



伝票画面の下部にある操作ボタンを使用して、明細行の編集ができます。

各操作ボタンをクリックして操作します。

明細行の編集機能

操作ボタン	説明
	新規行を作成します。 クリックすると、明細の最終行にカーソルが移動します。
	明細行を挿入します。 クリックすると、現在カーソルがある明細行とその一つ上の明細行の間に、新規行を挿入します。
	明細行を複製します。 クリックすると、現在カーソルがある明細行の下に、明細行を複製します。
	明細行を入れ替えます。 [△]ボタンをクリックすると、現在カーソルがある明細行の上の明細行と入れ替えます。 [▽]ボタンをクリックすると、現在カーソルがある明細行の下の明細行と入れ替えます。
	明細行を削除します。 クリックすると、現在カーソルがある明細行を削除する「確認」画面を表示します。 削除する場合は、[OK]ボタンをクリックします。 削除しない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。

### ◆ 伝票を一覧で確認する



各「伝票」画面で、伝票を一覧表示するには、[一覧] ボタンをクリックします。

「一覧」ボタンをクリック



作成した伝票を一覧で確認できます。

伝票一覧に表示された伝票をクリックすると、伝票の内容を表示します。

伝票一覧の【新規作成】をクリックすると、新規に伝票を作成します。

「新規作成」をクリック

作成した伝票を複製するには、複製する伝票をクリックして選択し、「伝票複製」ボタンをクリックします。

「伝票複製」ボタンをクリック

不要な伝票を削除するには、削除する伝票をクリックして選択し、「伝票削除」ボタンをクリックします。

「伝票削除」ボタンをクリック

## ◆ 伝票を印刷する



各種伝票（入庫伝票、出庫伝票、出入庫伝票、廃棄伝票）を印刷します。

操作ボタンの「印刷」ボタンをクリックします

印刷操作については、43 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

「印刷」ボタンをクリック

# 9 商品の棚卸を行う

棚卸を行うことで、商品の実在庫数と本製品に入力された在庫数を確認し、一致させることができます。



棚卸を行うには、メインメニューの【日常処理】タブ内にある【棚卸】アイコンをクリックします。

【棚卸】アイコンをクリック



「棚卸」画面を表示します。

【棚卸日付】欄に棚卸を実施する日付を入力します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

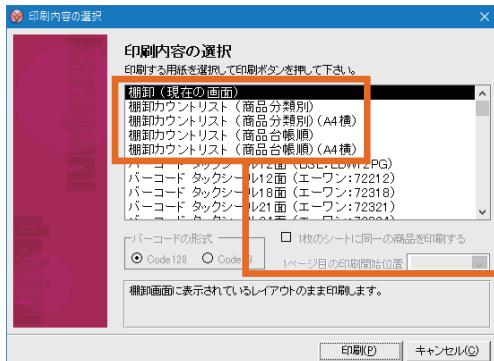
棚卸を実施する日付を入力



「棚卸」画面に表示した商品の一覧を印刷します。印刷した一覧（棚卸カウントリスト）に、商品の実際の在庫数を記入します。

棚卸カウントリストを印刷するには、【印刷】ボタンをクリックします。

【印刷】ボタンをクリック



「印刷内容の選択」画面を表示するので、棚卸カウントリストを選択します。

棚卸カウントリストを選択して、[印刷] ボタンをクリックします。

棚卸カウントリストの詳細や印刷手順の詳細については、43ページの「印刷の操作」をご覧ください。

### 棚卸カウントリストの種類を選択



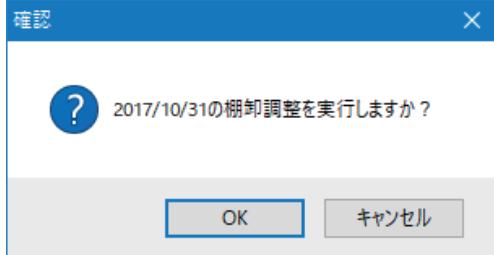
在庫数を記録した棚卸カウントリストをもとに、実際の在庫数を「実在庫数」欄に入力します。保管場所台帳を有効にしている場合は、保管場所ごとに入力します。

在庫数を入力すると、実際の在庫数と本製品に入力した在庫数との差分を「過不足数」欄に表示します。

在庫数に差異が無い場合、「**実在庫数**」欄は空欄でも構いません。

棚卸に関する覚書などの参考情報は、[棚卸備考] 欄に入力します。

入力後、操作ボタンの「棚卸実行」ボタンをクリックします。



「確認」画面を表示します。

棚卸を行う場合は、[OK] ボタンをクリックします。

棚卸を行わない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。「棚卸」画面に戻ります。

[OK] ボタンをクリックすると、「棚卸調整は正常に終了しました」とメッセージを表示します。

#### ◆ 実行した棚卸の内容を確認するには



実行した棚卸は伝票として登録します。入力した棚卸の伝票は、[日常処理] タブにある「伝票一覧」画面で確認できます。

棚卸の伝票は「伝票種別」が「入出庫」、[伝票備考] 欄に「棚卸調整」と実施した日付を表示します。検索条件で、[伝票備考] 欄を「棚卸調整」で検索すると、棚卸の伝票を抽出できます。

「伝票一覧」画面の操作方法については、39 ページの「伝票一覧画面の操作」をご覧ください。

# 10 バーコードリーダーを使用して棚卸を行う

本製品をノート型やタブレットなど携帯できるコンピューターにインストールし、コンピューターに接続したバーコードリーダー（バーコードスキャナー）を使用して棚卸作業を行う方法を紹介します。  
バーコードリーダーが無い場合、本機能は使用できません。

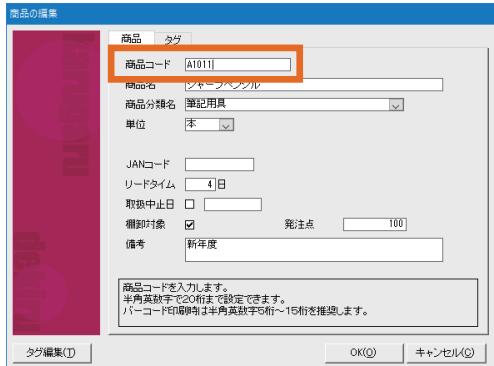
## ◆ 棚卸作業の準備

バーコードリーダーを使用して棚卸作業を行うために、商品台帳の登録や、保管場所への商品ラベル作成、バーコードリーダーが使用できるコンピューターで本製品をインストールします。

※バーコードリーダーを使用するコンピューターで、実際に本製品で在庫管理を行っている必要があります。

※バーコードリーダーの使用方法に関しては、バーコードリーダーの取扱説明書をご覧になるか、バーコードリーダーの製造元にお問い合わせください。

### ① 商品台帳に商品コードを設定する



商品台帳の「商品の編集」画面で、商品コードを入力します。  
バーコードで棚卸を行うには、商品コードの登録が必要です。  
バーコードを印刷する場合は、以下の点をご注意ください。

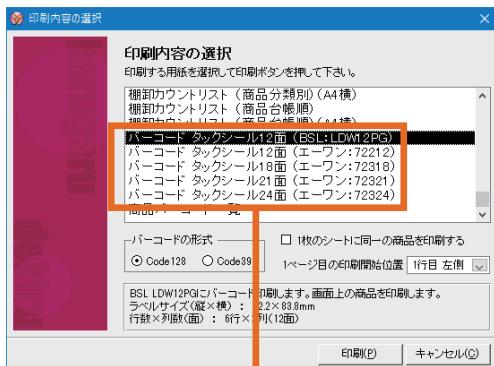
- ・商品コードは5～15桁
- ・商品コードには全角文字を使用しない
- ・Code39 または Code128 準拠

商品台帳については、47 ページの「台帳を管理する」をご覧ください。

バーコードを印刷する場合、商品コードが以下の制限で入力していることを必ず確認してください。

- Code39 : 半角数字 (0~9) / 半角英字 (大文字 A~Z) / 半角記号 (-、+、/、\$、%、スペース)  
Code128 : 半角数字 (0~9) / 半角英字 (大文字 A~Z・小文字 a~z) / 半角記号

### ② 保管場所用にバーコードのラベルを印刷する



保管場所用に、商品のバーコードを印刷したラベルを作成します。

「棚卸」画面または「商品台帳」画面の操作ボタンにある、[印刷] ボタンをクリックします。

「印刷内容の選択」画面で、バーコードが印刷できる用紙を選択します。

バーコードのラベルの詳細や印刷方法については、43 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

バーコードの印刷設定を選択

### ③ バーコードが印刷されたラベルを商品ごとに貼る

実際に商品を保管している箱などにバーコードを印刷したラベルを貼り、棚卸作業の準備をします。

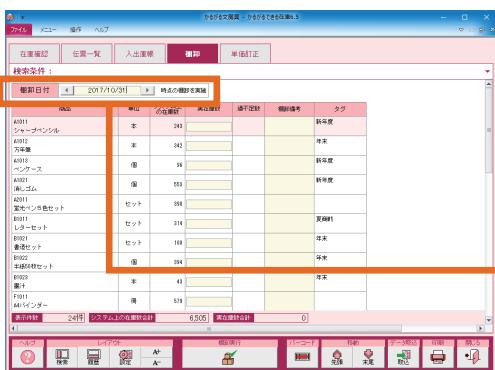
## ◆ 商品の棚卸を行う

保管場所にある商品の実際の在庫数を数えます。その際、バーコードリーダーを接続したコンピューターで、本製品の機能を使用して在庫数を入力します。



棚卸を行うには、メインメニューの【日常処理】タブ内にある【棚卸】アイコンをクリックします。

[棚卸]アイコンをクリック

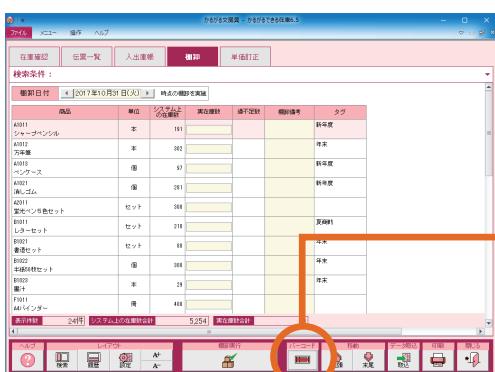


「棚卸」画面を表示します。

【棚卸日付】欄に棚卸を実施する日付を入力します。入力した日付の在庫数が修正されます。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

棚卸を実施する  
日付を入力



操作ボタンにある【バーコード】ボタンをクリックします。

表示されるメッセージにしたがって、バーコードをスキャナーで読みます。

[バーコード]ボタンをクリック

数量の入力

数量を入力してください

商品名	シャープペンシル
商品コード	A1011
JANコード	
<input type="button" value="入力"/>	

0	.	入力
1	2	3
4	5	6
7	8	9
		+
		×
		÷
		-

バーコードをスキャナーで読むと、該当する商品を表示します。

数量の入力

数量を入力してください

商品名	シャープペンシル	
商品コード	A1011	
JANコード		
<input type="button" value="入力"/>		
0	.	入力
1	2	3
4	5	6
7	8	9
		+
		×
		÷
		-

在庫数を入力します。  
在庫数は、キーボードか数字ボタンで入力します。  
入力後、[入力] ボタンをクリックします。

バーコード入力

「棚卸」画面に在庫を入力しました。  
続けて、バーコードを読み取ってください。

バーコード入力を終了する場合は、「閉じる」ボタンをクリックしてください。  
棚卸画面で「棚卸実行」ボタンをクリックしてください。

次の商品も、同様の手順で入力します。  
すべての商品の在庫数の入力完了後、[閉じる] ボタンをクリックし、バーコード入力画面を終了します。

在庫登録

在庫一覧

入力履歴

棚卸

単価訂正

検索条件 :

棚卸日付

2017年10月31日(火)

終了の棚卸を実行

商品	単位	在庫数	販売単価	過不足数	棚卸値	タグ
M101	個	695	145	61		削除
M102	個	679	179	41		削除
A1011	個	430	473	43		削除
M103	個	20	33	13		削除
ジルコニウム	セット	92	75	14		削除
P1011	個	35	133	103		削除
P1021	セット	94	92	14		削除
セラミックアートセット	セット	335	183	53		削除
Z1011	個	94	83	-4		削除

在庫登録

24件 システムとの在庫数合計 4,005 在庫登録合計 5245

在庫数を入力すると、実際の在庫数と本製品に入力した在庫数との差分を [過不足数] 欄に表示します。

数量に訂正がある場合は、「棚卸」画面で在庫数を修正します。  
棚卸を行う商品の追加がある場合、操作ボタンにある [バーコード] ボタンをクリックし、入力します。

棚卸に関する覚書などの参考情報は、「棚卸備考」欄に入力します。

入力後、操作ボタンの [棚卸実行] ボタンをクリックします。

確認

2017/10/31の棚卸調整を実行しますか？

「確認」画面を表示します。  
棚卸を行う場合は、[OK] ボタンをクリックします。  
棚卸を行わない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。「棚卸」画面に戻ります。

[OK] ボタンをクリックすると、「棚卸調整は正常に終了しました」とメッセージを表示します。

# 11 仕入単価を訂正する

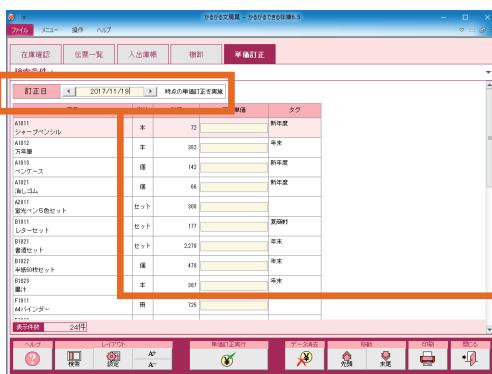
本製品では、仕入の単価の訂正をする場合に、単価訂正で入力ができます。通常は、以前の仕入単価に対して単価訂正を行う場合には、入庫伝票を開いて単価を訂正する必要がありますが、一括で単価訂正を行うこともできます。

金額管理機能を使用しない場合は、仕入単価の入力はできません。金額管理機能を有効にするには、51 ページの「自社設定」をご覧ください。



単価訂正を行うには、メインメニューの【日常処理】タブ内にある【単価訂正】アイコンをクリックします。

【単価訂正】アイコンをクリック

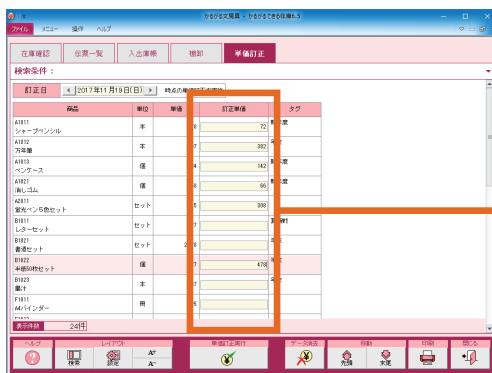


「単価訂正」画面を表示します。

【訂正日】欄に単価訂正を実施する日付を入力します。入力された日付で単価訂正の伝票を作成します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。単価訂正を実施する日付は、過去の日付でも入力できます。

単価訂正を実施する日付を入力



単価の訂正を行う商品の【訂正単価】欄に、金額を入力します。訂正が必要のない商品は空欄のままにします。

訂正単価を入力

単価の入力完了後、操作ボタンの [単価訂正実行] ボタンをクリックします。

※入力した単価をすべて消去するには、操作ボタンの [データ消去] ボタンをクリックします。

[単価訂正実行]ボタンをクリック

A confirmation dialog box with a blue header containing the Japanese word '確認' (confirmation). The main content area contains a question mark icon inside a blue circle, followed by the text '2017/11/19の単価訂正を実行しますか？' (Do you want to execute the unit price adjustment for November 19, 2017?). At the bottom, there are two buttons: 'OK' in a blue box and 'キャンセル' (Cancel) in a grey box.

〔単価訂正実行〕ボタンをクリックすると、確認画面を表示します。

単価訂正を行う場合は、[OK] ボタンをクリックします。  
クリックすると、「単価訂正是正常に終了しました。」とメッセージを表示します。

単価訂正を行わない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。「単価訂正」画面に戻ります。

## ■ 実行した単価訂正の内容を確認するには

実行した単価訂正是伝票として登録します。登録した伝票は、メインメニューの「日常処理」タブにある「伝票一覧」画面で確認できます。

単価訂正の伝票には、「伝票種別」を「入庫」、[伝票備考]欄に「単価訂正」と実施した日付が入力されます。

検索条件で、[伝票備考] 欄を「単価訂正」で検索すると単価訂正の伝票を抽出できます。

伝票種別が「入庫」で  
伝票備考に「単価訂正」と日付

「伝票一覧」画面の操作方法については、39 ページの「伝票一覧画面の操作」をご覧ください。



過去の日付で単価訂正を実行しても、単価訂正した日付より新しい入庫の単価入力がある場合は、新しい入庫の単価が最終仕入単価になります。

# 12 入出庫画面で入出庫情報を入力する

本製品では、入出庫帳を使用して入出庫の入力ができます。入庫伝票や出庫伝票を使用せずに入力できるので、帳簿形式で管理をしている方に便利な機能です。



入出庫帳を表示するには、メインメニューの [日常処理] タブ内にある [入出庫帳] アイコンをクリックします。



「入出庫帳」画面を表示します。

日付	商品	単位	入庫数
11/18			

入出庫を入力するには、新規行の [日付] 欄に日付を入力します。

日付	商品	単位	入庫数
2017/11/19			
<input type="button" value="▼"/>			

入庫（出庫）する商品を選択します。

商品を選択するには、[商品] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示されるリストから選択します。

※ [商品] 欄の上段に商品コードを直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当する商品が選択されます。

[▼]ボタンをクリックし、表示されるリストから選択

	単位	入庫数	出庫数	仕入単価	
	本	100			

[入庫数] ([出庫数]) 欄に入庫 (出庫) 数を入力します。

必要な場合は [仕入単価] 欄に仕入単価を入力します。

[仕入単価] 欄は、金額管理機能を有効にしている場合に表示します。

出庫数	仕入単価	相手先	備考
	99		
		取引先名 地球堂東京本店 パラダイス商会 三つ葉商会 <b>ユウビペン</b> らくだ事務機 イトーヨー千葉八王子店 越後屋川崎店	

相手先台帳を有効にしている場合は、相手先を選択します。  
相手先を選択するには、[相手先] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示されるリストから選択します。

[▼]ボタンをクリックし、表示されるリストから選択

仕入単価	相手先	備考	区分 伝票
99	S04		
	ユウビペン		

明細に関する覚書などの参考情報は、[備考] 欄に入力します。

備考を入力

## ◆ 入出庫区分と伝票の表示について

明細の [区分・伝票] 欄には、入出庫区分を表示します。伝票で入力を行った場合「(伝票)」と表記します。「入出庫帳」画面で伝票の編集はできません。伝票を編集するには、「(伝票)」と表記している行をダブルクリックして、伝票画面を開きます。

日付	商品	単位	入庫数	出庫数	仕入単価	相手先	備考	区分 伝票
2017/11/16	A1011 シャープペンシル	本		227		C01 イトーヨーカ堂		<b>出庫 (伝票)</b>
2017/11/16	A1013 ペンケース	個		162		C01 イトーヨーカ堂		<b>出庫 (伝票)</b>
2017/11/16	A1021 消しゴム	個		98		C01 イトーヨーカ堂		<b>出庫 (伝票)</b>
2017/11/16	F1011 A4パインダー	冊	120					<b>入庫</b>
2017/11/19	A1011 シャープペンシル	本	100		78	S04 ユウビペン		<b>入庫 (伝票)</b>
2017/11/19	A1013 ペンケース	個	50		134	S04 ユウビペン		<b>入庫 (伝票)</b>
2017/11/19	A1021 消しゴム	個	150		58	S04 ユウビペン		<b>入庫 (伝票)</b>
2017/11/19	A1011 シャープペンシル	本	100		99	S04 ユウビペン		<b>入庫 (伝票)</b>

入出庫の区分と伝票を表示



伝票によって入力された明細行は編集できません。

入力した伝票の明細行をダブルクリックすると、各「伝票」画面を表示します。各「伝票」画面内で明細行を編集してください。

# 13 伝票一覧画面の操作

伝票一覧機能を使用すると、入出庫した伝票を一覧で確認できます。  
入庫や出庫などの作業単位で伝票の入力、複製および削除が行えます。



伝票一覧を表示するには、メインメニューの [日常処理] タブ内にある [伝票一覧] アイコンをクリックします。



「伝票一覧」画面を表示します。

操作ボタンの「アクション」にある各ボタンをクリックして、伝票を作成しながら入出庫を入力できます。廃棄伝票は「その他」をクリックし [廃棄] ボタンをクリックします。

作成する伝票のボタンをクリック

「伝票一覧」画面で、伝票の内容を表示するには、伝票の [開く] ボタンをクリックします。



「伝票一覧」画面では、伝票を開かずに伝票の内容を確認できます。伝票の一覧から直接確認できるので、内容だけを確認する場合に便利です。

伝票の内容を確認するには、確認する伝票を選択し、操作ボタンの「レイアウト」にある [明細] ボタンをクリックします。

「伝票一覧」画面の下側に選択した伝票の明細を表示します。

## ■ 伝票を複製する場合



毎月同じ商品を出庫するなど、同じ処理を繰り返す場合は、伝票の複製が便利です。

伝票を複製するには、複製する伝票をクリックし、操作ボタンの「[伝票複製]」ボタンをクリックします。

[伝票複製] ボタンをクリック



複製が完了すると、「伝票を複製しました。複製した伝票を表示します。」というメッセージを表示します。

[OK] ボタンをクリックすると、複製した伝票の入力画面を表示します。(画面は入庫伝票を複製した場合)

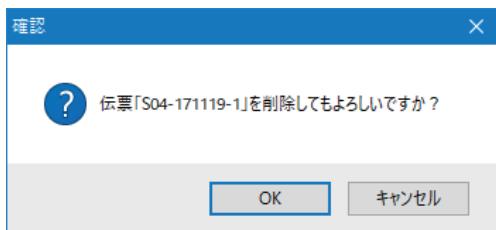
## ■ 伝票を削除する場合



「伝票一覧」画面では、伝票単位で伝票を削除できます。

伝票を削除するには、削除する伝票をクリックし、操作ボタンの「[伝票削除]」ボタンをクリックします。

[伝票削除] ボタンをクリック



確認画面が表示されます。

伝票番号を登録している場合に、確認画面に伝票番号を表示します。

伝票を削除する場合は、[OK] ボタンをクリックします。

伝票を削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

※伝票を削除すると入出庫履歴に影響が出ることがあります。削除する際には注意してください。

# 14 単品分析(入出庫履歴)

単品分析機能を使用して商品の入出庫の履歴が確認できます。選択した商品の入出庫履歴がすぐ確認できるので便利です。



「在庫確認」画面で、入出庫の履歴を確認する商品の [選択] 欄にチェックを付けます。

※複数の商品を選択すると単品分析機能は使用できません。

[選択]欄の□を  
クリックしてチェック



操作ボタンの [单品分析] ボタンをクリックします。

[单品分析]ボタンをクリック



商品の入出庫を記録した、「入出庫履歴」画面を表示します。

[発注点設定] ボタンをクリックすると、「発注点登録」画面を表示します。発注点を設定すると、在庫数が発注点以下になった場合、「在庫確認」画面で在庫数が赤字で表示します。詳しくは、42 ページの「在庫切れを防ぐためには」をご覧ください。

[タグ付け] ボタンをクリックすると、「商品タグ編集」画面を表示します。タグを設定することにより、商品をグループ化したり、季節によって出庫数が変動する商品に印をつけたりできます。詳しくは、23 ページの「商品にタグを設定する」をご覧ください。



相手先名で履歴を抽出することができます。

抽出するには、[相手先名]欄の[▼]ボタンをクリックし、抽出したい相手先を選択します。相手先を選択した場合、[在庫数]欄は「-」と表示されます。

## ◆ 在庫切れを防ぐためには

売れ筋の商品など需要の多い商品は、在庫切れを起こすとビジネスチャンスを逃す場合があります。売れ筋の商品の在庫数の把握や、商品ごとに在庫切れ警告を設定することにより、事前に在庫切れを防ぎます。

本製品では、在庫切れを防ぐために発注点を設定し、発注点を下回った場合に在庫切れ警告を表示することができます。管理する商品の数が多く、すべての商品に発注点を設定できない場合は、まず需要の多い商品に発注点を設定し、在庫切れを起こさないようにします。

### ■ 発注点を設定する

発注点登録

発注点を入力してください。

発注点  本

発注点とは、発注タイミングの目安になる数のことです。  
在庫数が発注点を下回ると「在庫切れお知らせ画面」が表示され、在庫切れを未然に防ぐことができます。

商品に発注点を設定するには、「単品分析」画面で「[発注点設定]」ボタンをクリックします。

発注点を設定すると、出庫時に在庫数が発注点以下になった場合に、警告を表示します。

「在庫確認」画面で在庫数が発注点以下の場合は、在庫数を赤字で表示します。検索条件で、発注点以下の商品を抽出することもできます。

【発注点】欄に、商品の発注点となる在庫数を入力し、【登録】ボタンをクリックします。

※商品台帳でも、発注点を設定できます。商品台帳について  
は、47ページの「台帳を管理する」をご覧ください。

# 15 印刷の操作

入庫伝票などの伝票の印刷や帳票などの印刷ができます。

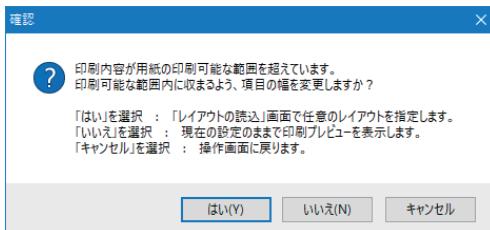


各画面で操作ボタンに [印刷] ボタンを表示している場合、印刷機能が使用できます。

操作ボタンの「印刷」にある [印刷] ボタンをクリックします。

※画面例は「在庫確認」画面です。

[印刷]ボタンをクリック

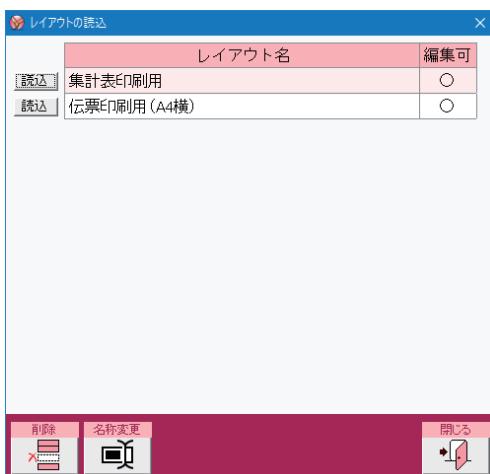


印刷する項目が用紙の印刷範囲を超えている場合、「確認」画面を表示します。

[はい] ボタンをクリックすると、「レイアウトの読込」画面を表示します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、現在表示している画面の状態のまま、「印刷プレビュー」画面を表示します。この状態で印刷を行うと、画面上に表示されたままのイメージを印刷するので、用紙に収まらずに印刷する場合があります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、元の操作画面に戻ります。



「レイアウトの読込」画面に設定した画面のレイアウトの一覧を表示します。

[編集可] 欄に「○」が無いレイアウトは初期設定のレイアウトです。

一覧から設定したレイアウトの [読込] ボタンをクリックします。

レイアウトを設定していない場合は、初期設定のレイアウトの [読込] ボタンをクリックします。

画面のレイアウトについては、17 ページの「画面レイアウトの設定操作」をご覧ください。



「印刷プレビュー」画面を表示します。

実際に印刷する内容のイメージを表示します。印刷内容を確認し、[印刷] ボタンをクリックして印刷を実行します。

ボタン	説明
設定	「印刷設定」画面を表示し、余白の設定などを行います。
印刷	「印刷」画面を表示します。「印刷」画面から印刷を実行できます。
出力	PDF 形式・XPS 形式でファイルに出力できます。「出力先の選択」画面を表示し、出力先と出力形式を選択します。(BSL 用紙などの専用帳票を利用する場合など、用紙の種類によっては印刷データに罫線を含まないため、PDF形式のファイルには出力できません)
用紙サイズ	プリンターに設定している用紙サイズを選択できます。
縦/横	用紙の向きを縦方向か横方向に選択できます。
ズーム	クリックするたびに、「印刷プレビュー」画面を拡大/縮小します。[▼] ボタンをクリックすると、画像サイズ(%)を選択できます。
1 ページ	「印刷プレビュー」画面を 1 ページずつ表示します。
2 ページ	「印刷プレビュー」画面を 2 ページずつ表示します。
その他のページ	「印刷プレビュー」画面を 4 ページ/8 ページ/12 ページから選択して表示します。
閉じる	「印刷プレビュー」画面を閉じます。

## ◆ 印刷範囲を設定する

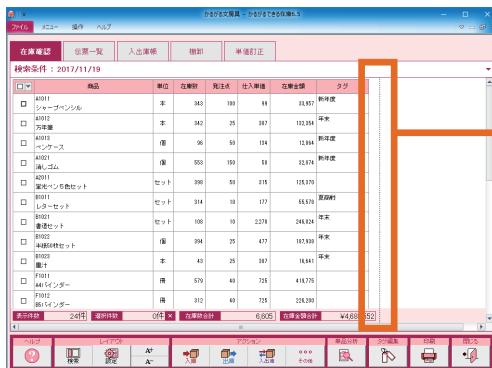
設定している用紙の印刷範囲を表示できます。印刷範囲を基準にレイアウトや用紙サイズを調整します。



「在庫確認」画面や「入出庫帳」画面などの画面では、メニューバーの [操作] タブにある [印刷範囲表示] をクリックすると、現在設定している用紙の印刷範囲(点線)を、画面に表示します。印刷範囲を非表示にするには、もう一度 [印刷範囲表示] ボタンをクリックします。



各「伝票」画面では、操作ボタンの [範囲] ボタンをクリックすると、現在設定している用紙の印刷範囲(点線)を表示します。印刷範囲を非表示にするには、もう一度 [範囲] ボタンをクリックします。



画面に印刷範囲（点線）を表示します。

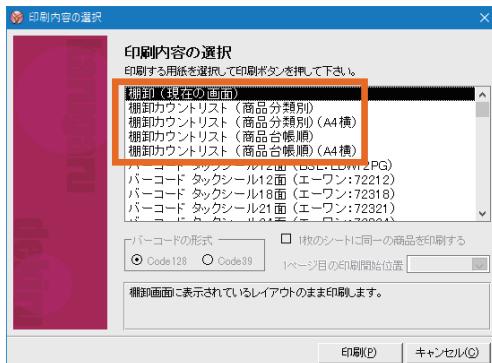
用紙の印刷範囲(点線)

レイアウト設定で、用紙範囲に入るよう画面のレイアウトを変更します。レイアウト設定については、17 ページの「画面レイアウトの設定操作」をご覧ください。



選択した用紙によって、表示している項目の印字が収まらない場合があります。その場合は印刷の設定で用紙を変更や余白の調整を行うか、レイアウトの設定で画面のレイアウトを変更してください。レイアウトの設定については、17 ページの「画面レイアウトの設定操作」をご覧ください。

## ◆ 棚卸カウントリストを印刷する



棚卸カウントリストは、「棚卸」画面から印刷できます。商品の在庫数を、印刷した棚卸カウントリストに記入して、棚卸をします。

商品の棚卸については、30 ページの「商品の棚卸を行う」をご覧ください。

「棚卸」画面で、[印刷] ボタンをクリックすると、「印刷内容の選択」画面を表示します。

印刷する棚卸カウントリストをクリックして選択します。

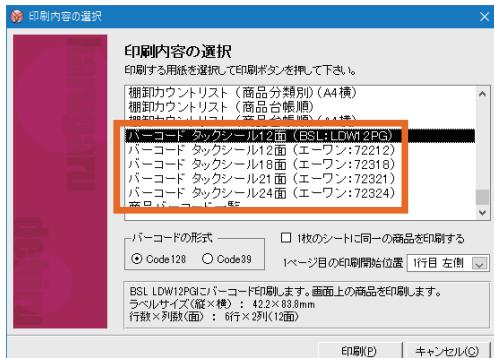
[印刷] ボタンをクリックします。

「印刷プレビュー」画面を表示します。印刷操作については、43 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

## ■ 棚卸カウントリストの印刷設定

項目	説明
棚卸(現在の画面)	現在の画面に表示している一覧を普通紙に印刷します。
棚卸カウントリスト (商品分類別)	棚卸カウントリストを商品分類別にまとめ、A4 普通紙に印刷します。商品ごとにまとめた形で表示します。
棚卸カウントリスト (商品分類別)(A4 横)	棚卸カウントリストを商品分類別にまとめ、A4 普通紙に横向きに印刷します。商品ごとにまとめた形で表示します。
棚卸カウントリスト (商品台帳順)	棚卸カウントリストを商品台帳の並び順で、A4 普通紙に印刷します。
棚卸カウントリスト (商品台帳順)(A4 横)	棚卸カウントリストを商品台帳の並び順で、A4 普通紙に横向きに印刷します。

## ◆ 商品コードのバーコードを印刷する



商品コードのバーコードは、「商品台帳」画面または「棚卸」画面で印刷できます。

※商品台帳に、商品コードの登録が無い商品は、印刷できません。

バーコードを印刷する場合は、以下の点をご注意ください。

- ・商品コードは5~15桁
- ・商品コードには全角文字を使用しない
- ・Code39 または Code128 準拠

「商品台帳」画面または「棚卸」画面で、[印刷] ボタンをクリックすると、「印刷内容の選択」画面を表示します。印刷する用紙をクリックして選択します。

[印刷] ボタンをクリックします。

「印刷プレビュー」画面を表示します。印刷操作については、43ページの「印刷の操作」をご覧ください。

### ■ バーコード印刷の印刷設定

項目	説明
バーコード タックシール 12 面 (BSL:LDW12PG)	商品コードのバーコードをタックシール(LDW12PG)に印刷します。 「LDW12PG」は BSL 専用サプライ用紙です。
バーコード タックシール 12 面 (エーウン:72212)	商品コードのバーコードをタックシール(エーウン 72212)に印刷します。
バーコード タックシール 18 面 (エーウン:72318)	商品コードのバーコードをタックシール(エーウン 72318)に印刷します。
バーコード タックシール 21 面 (エーウン:72321)	商品コードのバーコードをタックシール(エーウン 72321)に印刷します。
バーコード タックシール 24 面 (エーウン:72324)	商品コードのバーコードをタックシール(エーウン 72324)に印刷します。
バーコードの形式	バーコードの形式を選択します。 お使いのバーコードリーダーが対応している形式を選択してください。 ※バーコードリーダーの使用方法については、バーコードリーダーの取扱説明書をご覧ください。
1枚のシートに同一の商品を印刷する	1枚のシートすべてのラベルに、同一の商品を印刷します。
1ページ目の印刷開始位置	タックシールの印刷開始位置を設定します。開始位置を変更するには[▼]ボタンをクリックして、設定を選択します。 ※印刷開始位置の変更は、必要な場合のみ変更してください。プリンター内でタックシールが紙詰まりを起こす危険性があります。

※エーウン社製のラベル用紙は、エーウン直販ショップなどでご購入ください。

# 16 台帳を管理する

商品や相手先の新規登録、修正、削除などはメインメニューの【特別処理】タブにある各台帳で編集します。



各台帳のアイコンをクリック

## ■「台帳」画面のボタン操作

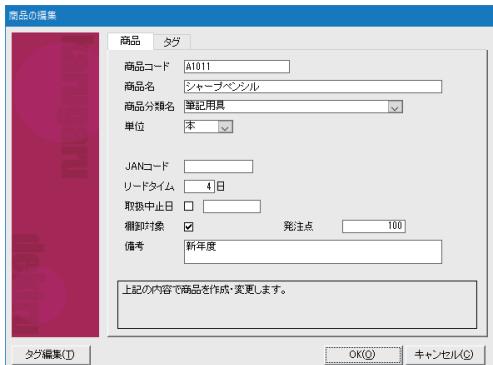
各「台帳」画面の下部には、台帳管理のためのさまざまな操作ボタンが配置されています。

※下記の操作ボタンは「商品台帳」画面です。



ヘルプ	ブラウザを使用して、BSL のユーザーサポートウェブサイトを開きます。操作方法などに関する最新の情報を調べたり、サポートセンターへ質問をしたりできます。												
レイアウト	検索	各台帳から目的の商品や相手先を検索するための画面が表示されます。検索機能については、19 ページの「検索機能の操作」をご覧ください。											
	設定	各「台帳」画面で、表示する列幅や項目の表示/非表示など、画面のレイアウトを変更して表示できます。レイアウトの操作については、17 ページの「画面レイアウトの設定操作」をご覧ください。											
	A+/A-	各「台帳」画面で、表示する文字の大きさを変更します 文字サイズを大きくするには、[A+] ボタンをクリックします。 文字サイズを小さくするには、[A-] ボタンをクリックします。											
商品分類	「商品分類台帳」を表示します。([商品分類]ボタンは商品台帳でのみ表示します) 商品分類の登録・編集・削除・並べ替えができます。 商品分類の登録については、49 ページの「商品分類台帳を編集する」をご覧ください。												
単位	「単位台帳」を表示します。([単位]ボタンは商品台帳でのみ表示します) 単位の登録・編集・削除・並べ替えができます。												
単品分析	選択した商品の「単品分析」画面を表示します。([単品分析]ボタンは商品台帳でのみ表示します) 単品分析については、41 ページの「単品分析(入出庫履歴)」をご覧ください。												
新規行	台帳の新規行にカーソルを移動します。												
行挿入	現在カーソルのある行の前に新規行を挿入します。([行複製]ボタンは相手先台帳、タグ一覧で表示します)												
行複製	現在カーソルのある行を複製して、同じ内容の行を作成します。([行複製]ボタンは相手先台帳でのみ表示します)												
行入替	行の並び順を変更します。												
商品削除	登録した商品を削除します。([商品削除]ボタンは商品台帳でのみ表示します)												
行削除	現在カーソルのある行を削除します。([行削除]ボタンは相手先台帳でのみ表示します)												
タグ編集	選択した商品のタグを追加します。([タグ編集]ボタンはタグ一覧でのみ表示します) 新しいタグを追加もできます。また複数の商品に同じタグを付けることもできます。												
印刷	現在開いている台帳の印刷や PDF ファイルへの出力を行います。												
閉じる	「台帳」画面を閉じてメインメニューに戻ります。												

## ◆ 商品(相手先)に関する情報を編集する



各「台帳」画面の明細行にある「詳細」ボタンをクリックすると、「商品(相手先)の編集」画面を表示します。(画面の例は「商品の編集」画面)

商品台帳の場合、商品コード、商品名など商品個別の情報が編集できます。

また、[タグ]タブをクリックすると、その商品に設定したタグを確認できます。

[タグ編集]ボタンをクリックすると、タグの追加、削除などができます。

相手先台帳の場合、相手先コード、相手先名、相手先種別など相手先個別の情報が編集できます。

## ◆ 商品の情報を一括で更新する

表示されている商品情報の特定の項目を一括で更新します。

一括で更新できる項目は、「商品分類」、「単位」、「標準発注先」、「JANコード」、「リードタイム」、「取扱中止日」、「棚卸対象」、「発注点」、「備考」です。

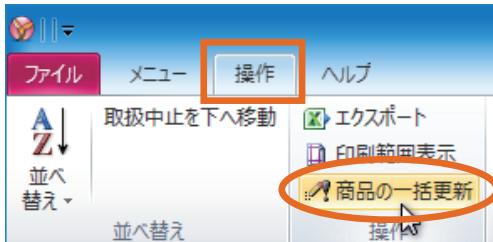


「商品の一括更新」機能は、更新対象の項目の内容を、更新内容すべて上書きします。更新対象にすでに入力されている場合でも上書きしますので、更新する際には十分ご注意ください。更新作業を行う前にデータファイルのバックアップをすることをお勧めします。

### ■ 一括更新の対象となる商品について

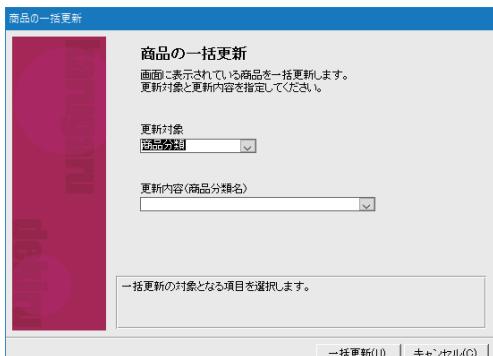
一括更新の対象となる商品は、現在、「商品台帳」画面に表示している商品が対象です。

「商品台帳」画面で、商品分類やタグを検索条件に設定して、あらかじめ更新の対象となる商品を抽出してから更新します。画面に表示していない商品は更新されません。



「商品台帳」画面で、情報を一括で更新する商品を表示します。

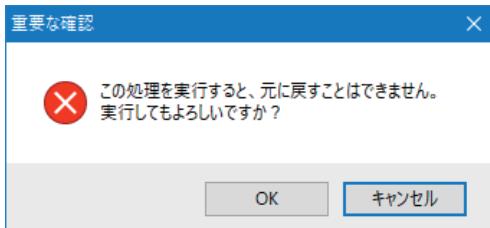
商品情報を変更するには、[操作]メニューから「商品の一括更新」をクリックします。



「商品の一括更新」画面を表示します。

[更新対象]欄の[▼]ボタンをクリックして、表示されるリストから、更新する項目を選択します。

次に、[更新内容]欄の[▼]ボタンをクリックして、表示されるリストから入力する内容を選択します。[更新内容]欄に表示する内容は、事前に登録する必要があります。



確認メッセージが2回表示されますので、十分注意して行ってください。一度、一括更新を行ふと、元に戻すことはできません。  
一括更新する場合は、[OK] ボタンをクリックします。  
一括更新しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。  
更新が完了すると、更新した件数が表示されます。

## ◆ 商品分類台帳を編集する



商品分類台帳を編集するには、「商品台帳」画面の操作ボタンにある「商品分類」ボタンをクリックします。

「商品分類台帳」画面を表示します。

登録した商品分類を編集するには、編集する項目をクリックして編集します。

新しい商品分類を登録するには、[新規行] ボタンをクリックし、[商品分類コード] 欄と [商品分類名] 欄に入力します。

表示の順番を変更するには、[行入替] ボタンをクリックし、並び順を変更します。

商品分類を削除するには、[行削除] ボタンをクリックします。



商品に登録した商品分類を削除すると[商品分類名]欄が空欄になり、元に戻せません。ご注意ください。

## ◆ 単位台帳を編集する



単位台帳を編集するには、「商品台帳」画面の操作ボタンにある「単位」ボタンをクリックします。

「単位台帳」画面を表示します。

登録した単位を編集するには、編集する項目をクリックして編集します。  
新しい単位を登録するには、[新規行] ボタンをクリックし、[単位] 欄に入力します。

表示の順番を変更するには、[行入替] ボタンをクリックし、並び順を変更します。

単位を削除するには、[行削除] ボタンをクリックします。



商品に登録した単位を削除すると[単位]欄が空欄になり、元に戻せません。ご注意ください。

# 17 各種の設定を行う

本製品は、「設定」画面において入力画面の動作や印刷方法など、さまざまな設定を細かく指定できます。またデータファイルのバックアップや復元などのメンテナンスを行う機能も用意されています。必要に応じて下記の設定機能を使用して操作してください。



「設定」画面を開くには、メインメニューの[設定]アイコンをクリックします。

[設定]アイコンをクリック

## ■「設定」画面

はじめに左側のリストから、設定項目を選択します。  
設定項目を選択すると、右の設定内容が切り替わります。

設定内容を指定します。左側のリストで選択した設定項目に応じて、内容が切り替わります。

右の各設定内容にマウスのカーソルを移動すると、設定内容の説明を表示します。設定内容を指定する際の参考にできます。

最後に[OK]ボタンをクリックすると、設定内容を反映します。  
[キャンセル]ボタンをクリックすると、設定内容を反映せずにメインメニューに戻ります。

## ◆ 自社設定

「自社設定」では、自社名や使用する機能の有効・無効の設定を行います。

項目	説明
<b>自社情報</b>	自社名や備考などを設定します。ここで登録した名称が伝票や集計表などに表示・印刷されます。[備考]ボタンをクリックして備考を設定すると、データファイルの切り替え操作時に表示されます。例えばデータファイルの分離を行った日付など、データファイルの判別に役立つ情報を入力しておくと便利です。
<b>機能</b>	[タグ機能を有効にする]にチェックを付けると、商品にタグ付けができるようになります。 [金額管理を有効にする]にチェックを付けると、在庫金額(棚卸資産)の管理や仕入時の単価の管理ができます。(最終仕入原価法) [入庫・出庫概算額を有効にする]にチェックを付けると、集計表の「商品別相手先入出庫」と「相手先別商品入出庫」に、「入庫概算額」および「出庫概算額」を表示します。本機能は、集計日直近の仕入単価に、入庫数または出庫数を掛けて計算しています。なお、目安としての概算額であり、仕入金額や売上額とは異なります。 [相手先台帳を有効にする]にチェックを付けると、相手先の設定ができます。 [メニューに「導入」を表示する]にチェックを付けると、メインメニューに[導入]タブを表示します。

## ◆ データファイル

「データファイル」では、現在使用中のデータファイルの場所の表示や、バックアップと復元、データ出力などの設定を行います。

項目	説明
<b>データファイル</b>	[「フォルダ名」]には、現在使用しているデータファイルが存在するフォルダ名を表示します。 [「ファイル名」]には、現在使用しているデータファイル名を表示します。すべてのデータはこのファイルに随時自動的に保存します。 [「対象期間」]には、現在使用しているデータファイルの対象期間を表示します。この期間内の日付の入出庫記録や伝票を、入力・処理します。(「過去の古いデータを分離」の処理をした場合、対象期間は変更できません)

項目	説明
データファイル変更	[旧バージョンからの移行]では、旧バージョンからのデータファイルを移行して使用できる状態にします。 [データファイルの切替]では、分離した過去の古いデータファイルやほかのデータファイルを開きます。
データファイル バックアップ	[データファイルのバックアップ]では、デスクトップなどに現在使用しているデータファイルをバックアップします。詳しくは、58 ページの「データファイルのバックアップをする」をご覧ください。 [バックアップファイルの復元]では、バックアップしたデータファイルを復元して使用できる状態にします。詳しくは、60 ページの「バックアップファイルを復元する」をご覧ください。
データファイル操作	[データ取込(インポート)]では、商品台帳や相手先台帳などを別の CSV ファイルで管理している場合に、それらの内容を「かるがるできる在庫 6.5」の商品台帳や相手先台帳などに取り込みます。63 ページの「インポート・エクスポート」をご覧ください。 [データ出力(エクスポート)]では、入力した各種の台帳を外部ファイルに出力し、表計算ソフトなどほかのアプリケーションで扱えるようにします。エクスポートについては、63 ページの「インポート・エクスポート」をご覧ください。 [過去の古いデータを分離]では、指定した日付以前の過去の古い入出庫データを別のファイルに分離します。入出庫件数が極端に多く、動作が遅くなってきた場合などに実行します。 <u>一度分離したデータを元に戻すことはできませんので、ご注意ください。</u>

## ◆ パスワード

「パスワード」では、データファイルにパスワードを指定して、データを保護します。

パスワードを設定すると、次回データファイルを開こうとしたときに、パスワードの入力画面が表示されます。

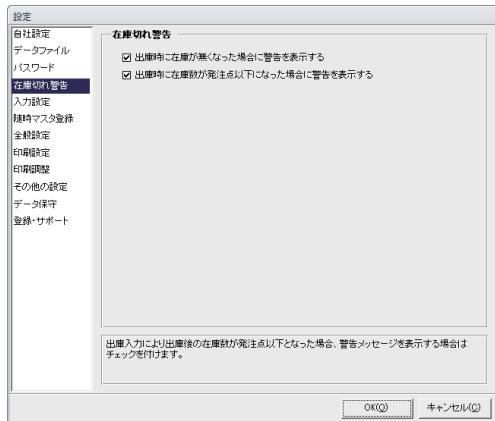
なお、パスワードを忘れる、データファイルを開くことができません。パスワードの取り扱いには十分ご注意ください。

項目	説明
今までのパスワード	パスワードを変更するために、現在設定されているパスワードを入力します。正しいパスワードが入力されると、[新しいパスワード]欄が入力可能になります。(入力したパスワードは、安全のため「*」で表示されます)
新しいパスワード	新しくデータファイルパスワードを設定します。パスワードを解除する場合は、空欄にしておきます。(入力したパスワードは安全のため「*」で表示されます) 新しくパスワードを設定するには、この欄にパスワードを入力します。パスワードは A～Z,0～9 までの半角英数字のみ使用できます。
パスワードの確認	新しいデータファイルパスワードを、確認のためもう一度入力します。パスワードを解除する場合は、空欄にしておきます。(入力したパスワードは、安全のため「*」で表示されます)



パスワードを設定すると、次回本製品を起動する際に、パスワードの入力画面が表示されます。

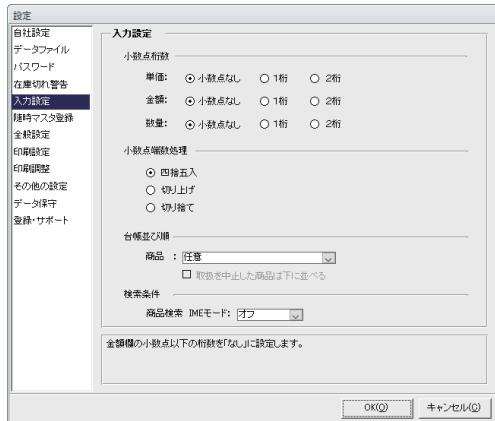
## ◆ 在庫切れ警告



「在庫切れ警告」では、出庫の際に、在庫数が 0 以下になった場合や、発注点以下の在庫数になった場合に警告を表示するかどうか設定ができます。

項目	説明
在庫切れ警告	[出庫時に在庫が無くなった場合に警告を表示する]にチェックを付けると、在庫数が 0 以下になった場合に警告を表示します。
	[出庫時に在庫数が発注点以下になった場合に警告を表示する]にチェックを付けると、在庫が発注点以下になった場合に警告を表示します。

## ◆ 入力設定



「入力設定」では、「在庫確認」画面などの画面に表示する小数点の桁数と、小数点の端数処理の設定ができます。

小数点は、単価、金額、数量で表示します。

項目	説明
小数点桁数	小数点以下の桁数を選択します。「小数点なし」、「1桁」、「2桁」から選択します。
小数点端数処理	小数点の端数処理方法を選択します。「四捨五入」、「切り上げ」、「切り捨て」から選択します。
台帳並び順	台帳での商品の並び順を選択します。 並び順を「任意」以外に設定すると、[取扱を中止した商品は下に並べる]にチェックが付けられます。 チェックを付けると、商品台帳で取り扱いを中止した商品は、一覧の最後に表示します。
検索条件 商品検索 IME モード:	「オン」に設定すると、検索条件の商品の入力欄で、IME が自動的に日本語入力モードになります。

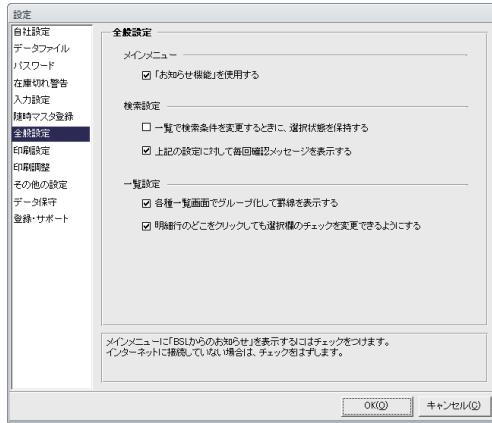
## ◆ 隨時マスタ登録



「隨時マスタ登録」では、台帳ごとに隨時マスタ登録機能の使用を設定します。

「禁止」を選択すると、台帳に登録が無い新しい商品などの名称を入力しても、隨時マスタ登録機能を使用せず、台帳へ登録しません。

## ◆ 全般設定



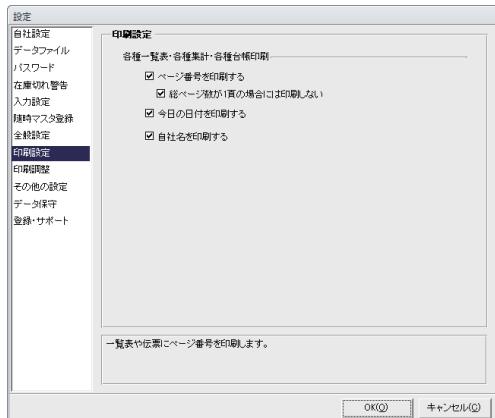
「全般設定」では、「お知らせ機能」などの設定を行います。「お知らせ機能」は、製品の起動時にインターネットを経由し、製品のアップデートプログラムが存在する場合のお知らせや更新情報、お得な最新情報などを表示します。



製品のアップデートプログラムの有無や更新情報、お得な最新情報などを表示

項目	説明
メインメニュー	「お知らせ機能」を使用する]にチェックを付けると、メインメニューに「お知らせ機能」を表示します。インターネットに接続している場合、「BSL からのお知らせ」や最新の「よくある質問」を表示します。「BSL からのお知らせ」には、重要な情報や便利な情報、お得な情報などを表示します。「お知らせ機能」を表示する状態でご利用になることをお勧めします。
検索設定	検索条件を変更する時に、設定した検索条件を保持するかしないかを設定します。 [一覧で検索条件を変更するときに、選択状態を保持する]にチェックを付けると、選択状態を保持します。 [上記の設定に対して毎回メッセージを表示する]にチェックを付けると、設定条件を保持の選択を行う確認画面を表示します。
一覧設定	[各種一覧画面でグループ化して戻線を表示する]にチェックを付けると、集計表画面などで、同じ商品・商品分類などの集計をグループ化して表示します。グループ表示は、並び順が既定値(並び順の一番上)の場合に表示します。並び順を変更しているとグループ表示されません。 [明細行のどこをクリックしても選択欄のチェックを変更できるようにする]にチェックを付けると、明細行のどの場所をクリックしても商品の選択ができるようになります。チェックを外す場合は、[選択]欄をクリックして選択します。

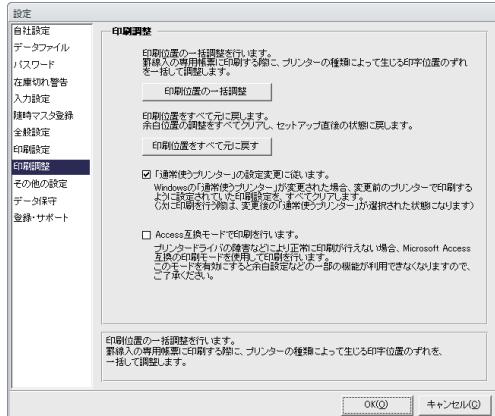
## ◆ 印刷設定



「印刷設定」では、各種一覧表、各種集計・各種台帳の印刷で印字する項目の設定を行います。

項目	説明
印刷設定	印刷時にページ番号や日付の印字を設定します。 [ページ番号を印刷する]にチェックを付けると、印刷時に自動でページ番号を印刷します。[総ページ数が1頁の場合には印刷しない]にチェックを付けると、ページ番号は印刷されません。 [今日の日付を印刷する]にチェックを付けると、印刷時にコンピューターに設定している日付を印字します。 [自社名を印刷する]にチェックを付けると、集計表の印刷時に「自社設定」で設定した自社名を印字します。

## ◆ 印刷調整

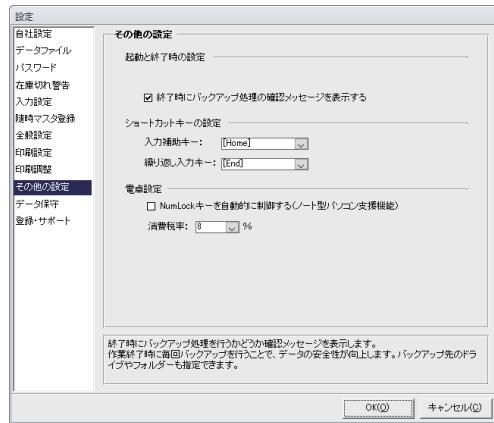


「印刷調整」では、印刷の位置調整や Access 互換モードでの印刷に関する設定を行います。

この設定画面の項目は、同じコンピューターを使用しているほかのユーザーと共通の設定になります。一人のユーザーが設定を変更すると、ほかのユーザーの設定も変更されます。

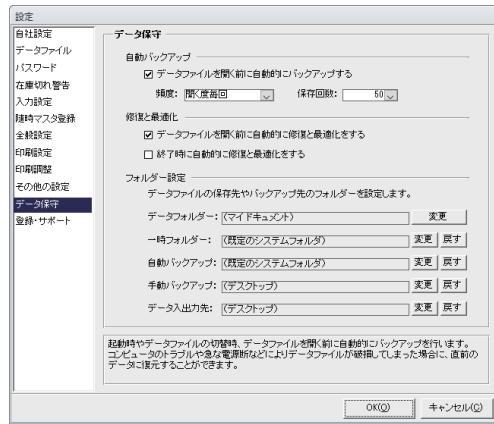
項目	説明
印刷調整	[印刷位置の一括調整]ボタンをクリックすると、印刷余白を一括して自動調整します。 [印刷位置をすべて元に戻す]ボタンをクリックすると、これまで設定していた各種用紙の印刷余白の設定をすべて製品の出荷時点に戻します。 [「通常使うプリンター」の設定変更に従います]にチェックを付けると、Windows の「通常使うプリンター」が変更された場合、変更前のプリンターで設定した印刷設定をすべて消去します。(次に印刷を行際は、変更後の「通常使うプリンター」を選択した状態になります) [Access 互換モードで印刷を行います]にチェックを付けると、プリンタードライバーの障害などによって正常に印刷が行えない場合に、Microsoft Access 互換の印刷機能を使用して印刷を行います。このモードを有効にすると余白設定などの一部の機能は使用できません。

## ◆ その他の設定



項目	説明
起動と終了時の設定	「終了時にバックアップ処理の確認メッセージを表示する」にチェックを付けると、終了時にバックアップ処理を行うかどうかメッセージを表示します。作業終了時に毎回バックアップを行うことで、データの安全性が向上します。
ショートカットキーの設定	「入力補助キー」や「繰り返し入力キー」に割り当てるキーを変更できます。
電卓設定	電卓の既定の消費税率を設定できます。

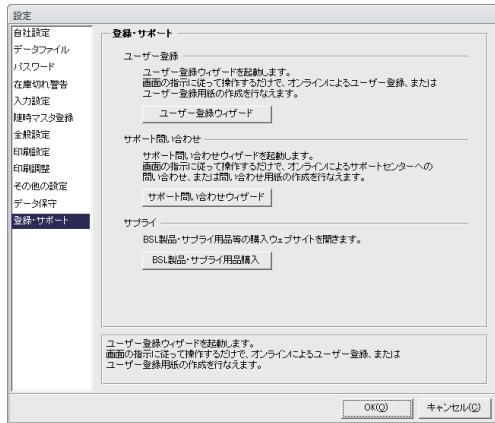
## ◆ データ保守



項目	説明
自動バックアップ	「データファイルを開く前に自動的にバックアップする」にチェックを付けると、起動時やデータファイルの切り替え時、データファイルを開く前に自動的にバックアップを行います。コンピューターのトラブルや急な電源断などによりデータファイルが破損してしまった場合に、直前のデータに復元することができます。

項目	説明
<b>修復と最適化</b>	[データファイルを開く前に自動的に修復と最適化をする]にチェックを付けると、データファイルを開く前にデータの修復と最適化を行います。コンピューターのトラブルや急な電源断などによりデータファイルを破損した場合に、データの修復を試みます。通常はチェックを付けたままにします。 [終了時に自動的に修復と最適化をする]にチェックを付けると、作業用の一時領域や作業領域を削除し、終了時にデータベースの修復と最適化を行います。通常はチェックを付けたままにします。 (最適化とは作業用に使用したハードディスクの領域を増やす、空き容量を増やす作業です)
<b>フォルダー設定</b>	データファイルの保存場所やバックアップの場所の既定のフォルダーを指定します。通常は変更しないでください。 [変更]ボタンをクリックすると、保存先やバックアップ先のフォルダーを指定できます。データファイルをクラウドストレージ上に保存する場合は、[データフォルダー]の右にある[変更]ボタンをクリックして、保存先を選択してください。 [戻す]ボタンをクリックすると、初期値に戻ります。

## ◆ 登録・サポート



「登録・サポート」では、各種のユーザーサポートのための機能の設定を行います。

項目	説明
<b>ユーザー登録</b>	[ユーザー登録ウィザード]ボタンをクリックすると、ユーザー登録ウィザードを起動して、ユーザー登録およびユーザー登録情報の変更ができます。
<b>サポート問い合わせ</b>	[サポート問い合わせウィザード]ボタンをクリックすると、ブラウザーを使用して BSL のユーザーサポートウェブサイトを開き、サポートセンターへの問い合わせができます。
<b>サプライ</b>	[BSL 製品・サプライ用品購入]ボタンをクリックすると、ブラウザーを使用して BSL 製品・サプライ用品などの購入ウェブサイトを開き、ほかの BSL 製品やサプライ用紙の購入などができます。

# 18 データファイルのバックアップをする

本製品に入力されているデータは、非常に重要な情報です。重要なデータを安全に運用するためにも、データは定期的にバックアップを行い、コンピューターのトラブルなどに備えておくことが大切です。

本製品には、手動のバックアップ機能に加えて自動のバックアップ機能など、データを安全に守るための機能が搭載されています。

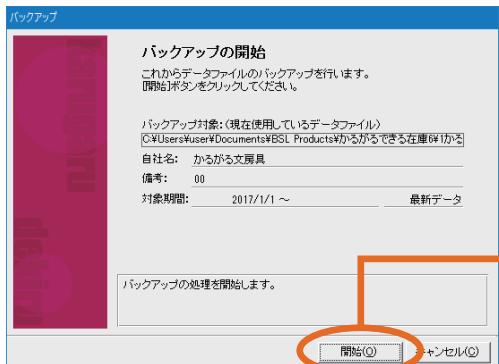
## ① バックアップ操作の開始



メインメニューの「データ保守」タブ内にある「[バックアップ]」アイコンをクリックして、バックアップ操作を開始します。

[バックアップ]アイコンをクリック

## ② バックアップの開始

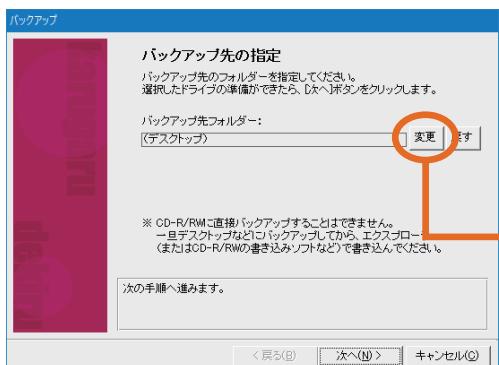


「バックアップの開始」画面を表示します。

[開始]ボタンをクリックします。その後、画面に表示する指示にしたがって、バックアップを行ってください。

[開始]ボタンをクリック

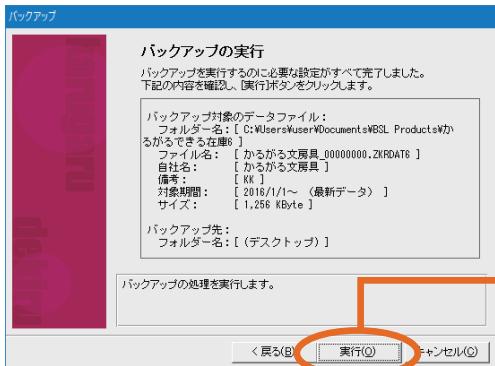
## ③ バックアップ先の指定



バックアップファイルの保存先を指定します。[変更]ボタンをクリックすると任意のドライブまたはフォルダーに変更できます。(通常の設定ではデスクトップ上にバックアップファイルが作成されます)

[変更]ボタンをクリックすると、バックアップ先のドライブまたはフォルダーを変更

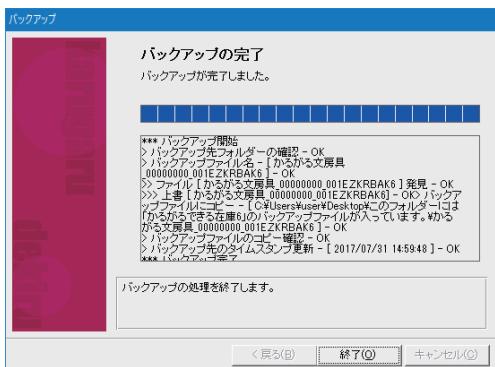
## ④ バックアップの実行



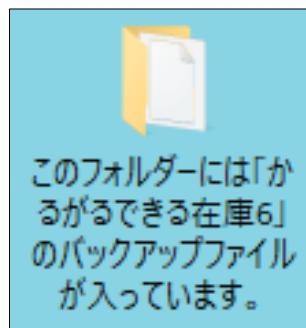
バックアップを行う前の確認画面が表示されます。表示内容を確認の上、[実行]ボタンをクリックしてください。

表示内容を確認して  
[実行]ボタンをクリック

## ⑤ バックアップの完了



バックアップが完了すると、完了のメッセージが表示されます。



バックアップファイルの保存先が「(デスクトップ)」の場合は、デスクトップに「このフォルダーには「かるがるできる在庫6」」のバックアップファイルが入っています。」という名前のフォルダーが作成され、そのフォルダーにバックアップファイルが保存されます。(本製品は「かるがるできる在庫 6.5」ですが、フォルダー名には「かるがるできる在庫6」と表示されます)

バックアップファイルの保存先が「(デスクトップ)」以外の場合は、保存先にバックアップファイルが保存されます。



CD-R/RW や DVD-R などの、バックアップ機能では直接書き込めないメディアにバックアップファイルを保存したい場合には、デスクトップ上のファイルを手動で書き込んでください。CD-R/RW や DVD-R などへの書き込みに関しては、専用の書き込みソフトが必要です。専用ソフトによる書き込み方法などに関しては、各メーカーへお問い合わせください。



本製品の操作終了時にも、「終了時に、データファイルのバックアップを行いますか？」と表示され、バックアップを行えます。終了時のバックアップの設定については、56 ページの「その他の設定」をご覧ください。

# 19 バックアップファイルを復元する

自動バックアップされたファイルや手動バックアップしたバックアップファイルは、復元機能を利用することにより、再び使用できるようになります。（※この作業は、データファイルやコンピューターが破損した場合などの非常時に使うもので、日常的に使用するものではありません。誤って復元を行うと、現在のデータが上書きされて失われてしまう場合もあります。バックアップファイルの復元の操作は十分に注意して行ってください）

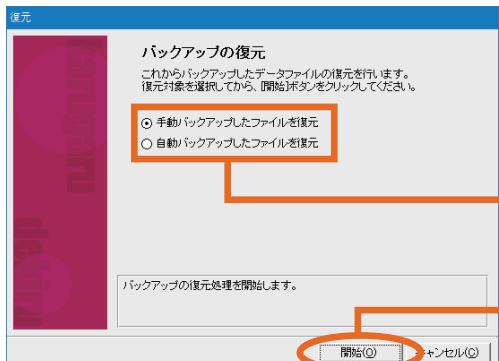
## ① 復元操作の開始



メインメニューの「データ保守」タブ内にある「復元」アイコンをクリックして、復元操作を開始します。

【復元】アイコンをクリック

## ② 復元の開始



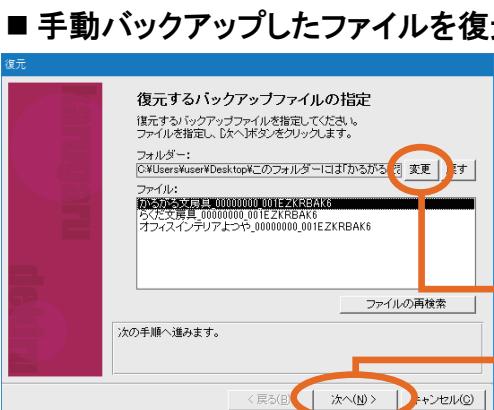
「バックアップの復元」画面を表示します。

復元するバックアップファイルの種類を選択し、[開始]ボタンをクリックします。

復元するバックアップファイルの種類を選択

【開始】ボタンをクリック

## ③ 復元するバックアップファイルの指定

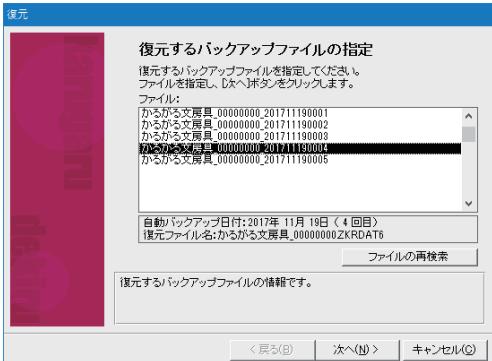


復元可能なバックアップファイルの一覧が画面中央に表示されるので、復元したいファイルを選択して[次へ]ボタンをクリックします。バックアップファイルの保存されているドライブやフォルダーが異なる場合には[変更]ボタンをクリックして、該当するバックアップファイルを選択します。

復元したい  
バックアップファイルを選択

【次へ】ボタンをクリック

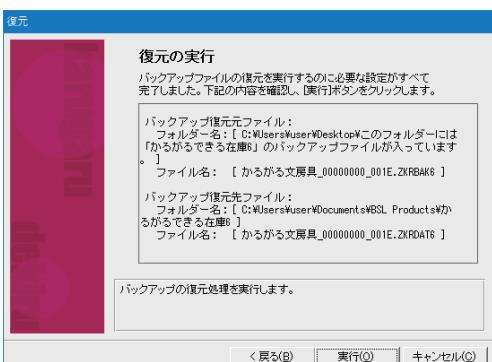
## ■自動バックアップしたファイルを復元する場合



自動的にバックアップされた、復元可能なバックアップファイルの一覧が画面中央に表示します。復元するファイルを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

バックアップファイルをクリックして選択すると、自動バックアップされた日付と何回目にバックアップされたファイルかを表示します。どのファイルを復元するかを選択する際の参考にしてください。

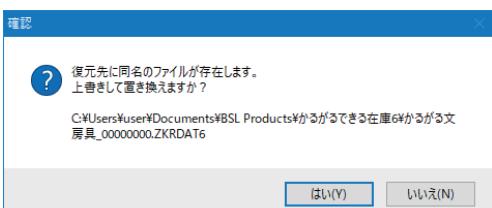
## ④復元の実行



画面中央に表示される内容を確認し、問題がない場合は[実行]ボタンをクリックしてバックアップファイルの復元を実行します。

[実行]ボタンをクリックすると復元作業を開始します。

設定内容を修正する場合は、[戻る]ボタンをクリックして設定する箇所に戻り、再設定を行います。



復元途中で確認メッセージを表示する場合があります。

これは、復元しようとしているデータフォルダー内に、同名のデータファイルが存在している場合に表示する警告メッセージです。現在のデータフォルダー内にあるファイルに上書きして、復元するバックアップファイルと置き換える場合には、[はい]ボタンをクリックします。上書きしない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。上書きを行うと直前まで入力していたデータは消去されるため、元に戻せません。注意してください。

上書きの確認メッセージを1回表示します。表示内容を確認の上、上書きしてよければ[OK]ボタンをクリックしてください。

バックアップからの復元が完了すると、完了のメッセージを表示します。

# 20 以前のバージョンからデータを移行する

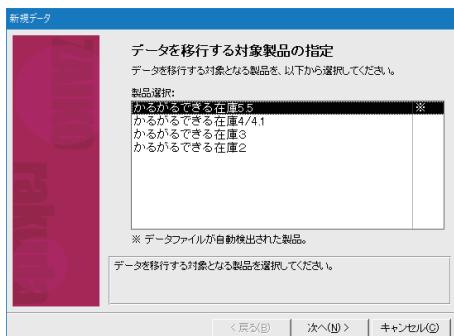
以前のバージョンの「かるがるできる在庫」シリーズで入力したデータを本製品に移行して使用できる状態にします。以前のバージョンからデータを移行するには、メインメニューの[設定]アイコンをクリックし、[データファイル]内にある[旧バージョンからの移行]ボタンをクリックします。



本製品をセットアップ後、初回起動した際に「かるがるできる在庫 5.5」の製品のデータファイルが検出された場合は、自動的にデータファイルを移行します。

なお、「かるがるできる在庫 4」以前の旧バージョンなどの場合や、設定された「データフォルダー」以外の場所にあるデータファイルやバックアップデータなどは、自動的に移行されませんので、以下の手順にしたがってデータファイルを移行してください。

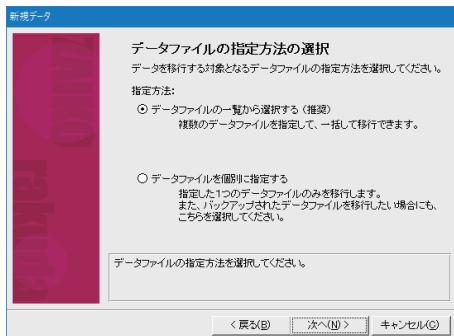
## ① データを移行する対象製品の指定



データ移行の対象となる製品を選択します。  
データファイルが自動的に検出された製品は、製品名の右側に[※]が表示されます。

データを移行したい製品を選択したら、[次へ]ボタンをクリックします。

## ② データファイルの指定方法の選択



データ移行の対象となるデータファイルの指定方法を選択します。

以下の二つの方法で、移行するデータファイルを指定することができます。

以降は、画面に表示される説明にしたがって操作してください。

データの指定方法	説明
データファイルの一覧から選択する	データファイルを自動検出した製品(前画面で「※」の付いた製品)のデータを一覧から選択して移行できます。
データファイルを個別に指定する	指定した1つのデータファイルのみを移行できます。また、任意の場所にあるバックアップファイルを指定して移行することも可能です。

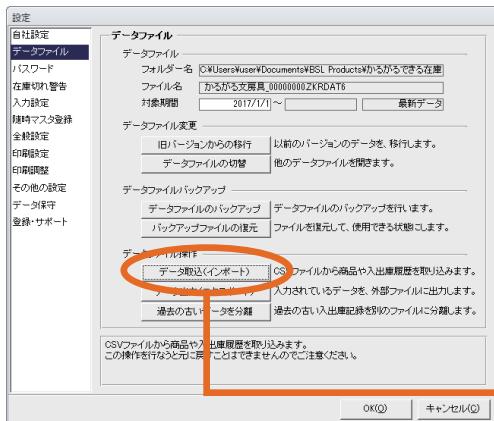


以前のバージョンの製品のデータファイルが自動検出された場合は、「データファイルの一覧から選択する」に「(推奨)」と表示されます。一方、データファイルが自動検出されなかった場合は、「データファイルを個別に指定する」に「(推奨)」と表示されます。「(推奨)」と表示された項目を選択することをお勧めします。

# 21 インポート・エクスポート

## ◆ 台帳と入出庫履歴を取り込む(インポート)

本製品は、CSV 形式で作成された台帳（相手先台帳・商品分類台帳・商品台帳）や、入出庫履歴のファイルを取り込むこと（インポート）ができます。今まで、表計算ソフトなどで作成していたデータを活用できます。

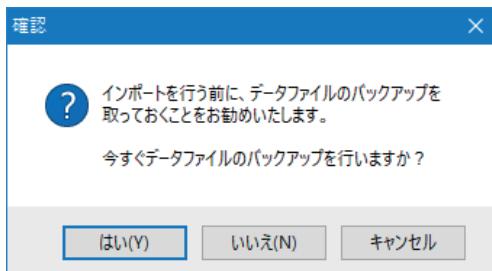


外部データをインポートするには、「設定」画面の【データファイル】内にある[データ取込（インポート）]ボタンをクリックします。

外部データとしてインポート可能なのは、CSV 形式のファイルのみです。CSV ファイルの仕様については、70 ページの「台帳のインポートファイル仕様」をご覧ください。

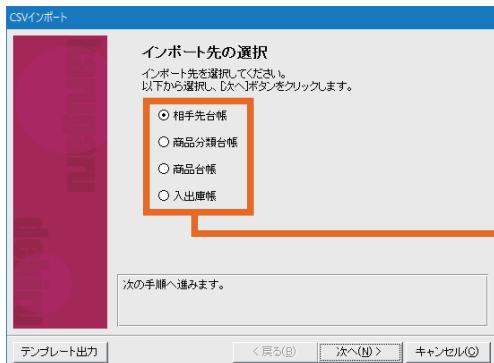
※外部データのインポートは、メインメニューの[導入]タブにある[インポート]アイコンからも行えます。

[データ取込(インポート)]  
ボタンをクリック



バックアップの「確認」画面を表示します。  
インポートを行う前にバックアップを取ることをお勧めします。

## ① 取り込む台帳の選択



取り込む台帳を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

以下の部分では、相手先台帳の取り込みを例に手順を説明します。

※自社の設定によって取り込む台帳の表示は変わります。

台帳を選択

[テンプレート出力] ボタンをクリックすると、各台帳のテンプレートファイルを出力します。詳しくは、67 ページの「テンプレートファイル(ひな形)の出力」をご覧ください。

## ② 取り込むファイルの選択

CSVインポート

インポートファイルの指定

インポートファイルのパスを指定してください。  
指定し終えたら、次へボタンをクリックします。

インポートファイル:

完全なパス名を入力するか、[指定]ボタンをクリックして選択してください。

インポートしたいCSVファイルを指定します。

[指定] ボタンをクリックし、インポートする台帳の CSV ファイルを指定します。

### ③ 項目の割り付け

CSVインポート

項目の割り付け

取込先の項目に対して、割り付けたい項目を選択してください。

必須	複数不可	取り込み先項目	割り付け名	割り付けデータ
※	相手元一戸	会社名	85017	
	相手元法人	会社名プリガノ		
※	相手元名	会社名	株式会社 フジパックス	
	相手元番号	会社名番号	小笠原 伸入	
※	郵便番号	会社名郵便番号	78111113	
	住所1	会社名住所	松山市西松町1-1-1	
※	住所2	会社名2住所	*****-*****	
	電話番号	会社名電話番号	080-*****-*****	
※	FAX番号	会社名FAX番号	080-*****-*****	
	傳書			
※	仕入先			
	出来先			
※	取扱中止	終了	False	

参照コード: < | 1 /102 | > 未割り付け項目: 65

戻る(8) 次へ(9) キャンセル(10)

台帳の CSV ファイルをインポートする際に、取り込み元（CSV ファイル側）の項目（列）を、取り込み先（「かるがるができる在庫 6.5」側）のどの項目に割り付けるかを選択します。

「割り付け列名」には、CSV ファイルの 1 行目のデータを表示します。そのため、インポートする CSV ファイルの 1 行目は、「割り付け列名」に表示した場合にわかりやすい項目名にします。なお、1 行目はデータとして取り込みません。

割り付けが完了したら、[次へ] ボタンをクリックします。



入出庫帳をインポートすると、相手先、商品などが各台帳に自動的に登録されます。

インポート後に、台帳機能で登録内容を確認してください。

項目	説明
<b>必須</b>	取り込む際に必ず必要な項目です。必須項目には「※」を表示します。 必須項目は変更できません。
<b>重複不可</b>	取り込む際に重複できない項目です。重複不可の項目には「※」を表示します。 重複不可の項目は変更できません。
<b>取り込み先項目</b>	取り込み先(「かるがるできる在庫 6.5」側)の項目名です。
<b>割り付け列名</b>	取り込み元(CSV ファイル側)の 1 行目の項目名を表示します。 右の[▼]ボタンをクリックすると、対応する項目を任意に変更できます。
<b>割り付けデータ</b>	「割り付け列名」内の実際のデータを表示します。 対応する取り込み先項目を選択する際の目安になります。
<b>参照レコード</b>	CSV ファイルに含まれるデータの数と、現在「割り付けデータ」に表示しているデータの番号を表示します。左右の矢印([←][→])ボタンをクリックすると、前後のデータに移動します。
<b>未割り付け列数</b>	取り込み先(「かるがるできる在庫 6.5」側)への割り付けが完了していない列の数を表示します。



## 項目の割り付け例

CSVインポート

項目の割り付け

必須	重複不可	取り込み先項目	割り付け列名	割り付けデータ
※		相手先コード	< 準整数コード	IB-001
		相手先名	< 会社名	レストラン ハッピー食堂
		担当者	< 個人名	小山 純
		郵便番号	< 郵便番号	170-0034
		住所1	< 住所情報A	東京都新宿区幸町4-4-4
		住所2	< 住所情報B	
		電話番号	< TEL番	03-*****-****
		FAX番号	< FAX番	03-*****-****
		備考	< 备考	
		仕入先	< 仕入先	
		出庫先	< 出庫先	
		取引中止	< 取引中止	

参照レコード: < 1 /33 > 未登録 割り付け列数: 10

<戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

例えば、左の画面にあるように割り付け設定をすると、CSVファイル側の「得意先コード」に含まれるデータが「かかるがるができる在庫 6.5」側に「相手先コード」として取り込みます。

これは正常に割り付け設定されている例です。



取り込み先項目	割り付け列名	割り付けデータ
相手先コード	< 得意先コード	IB-001

「相手先コード」に「得意先コード」が割り付けられるので、正しい。

CSVインポート

項目の割り付け

必須	重複不可	取り込み先項目	割り付け列名	割り付けデータ
※		相手先コード	< 準整数コード	IB-001
		相手先名	< 会社名	レストラン ハッピー食堂
		担当者	< 個人名	小山 純
		郵便番号	< 郵便番号	170-0034
		住所1	< 住所情報A	東京都新宿区幸町4-4-4
		住所2	< 住所情報B	
		電話番号	< TEL番	03-*****-****
		FAX番号	< FAX番	03-*****-****
		備考	< 备考	
		仕入先	< 仕入先	
		出庫先	< 出庫先	
		取引中止	< 取引中止	

参照レコード: < 1 /33 > 未登録 割り付け列数: 10

<戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

例えば、左の画面にあるように割り付けを設定すると、CSV ファイル側の「会社名」に含まれるデータが、「かかるがるができる在庫 6.5」側に「相手先コード」としてインポートします。

本来は「相手先名」として CSV ファイル側の「会社名」をインポートするべきですが、この例では、正常に割り付けを設定していません。



取り込み先項目	割り付け列名	割り付けデータ
相手先コード	< 会社名	レストラン ハッピー食堂

「相手先コード」に「会社名」が割り付けられるので、間違い。

## ④ 重複データの取扱方法の選択

CSVインポート

重複データの取扱方法の選択

データ取り込み時に、インポート先にデータが既に存在した場合に、どのように取り扱うか決定します。以下から重複データの取扱方法を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

重複チェックする項目  
「相手先コード」「相手先名」

④ すべての行を取り込む。  
④ ただし、上記の項目が重複する行は、取り込まない。  
○ ただし、上記の項目が重複する行は、上書き取扱する。  
○ 上記の項目が重複する行のみ、上書き取り込みする。

CSVからすべての行を取り込みます。  
データが既に存在した場合に上書きするか取り込むかを選択してください。

<戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

初めて新規データファイルに台帳を取り込む場合は、「すべての行を取り込む。」を選択します。重複データの取り扱いについては、66 ページの「重複データの取り扱い例」をご覧ください。

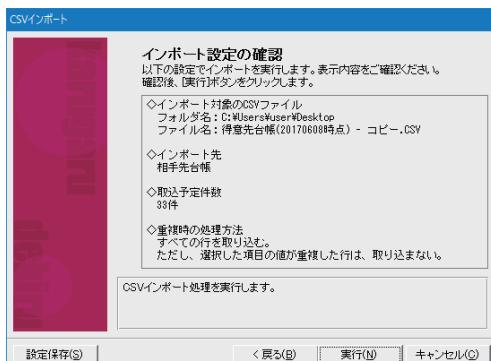
[次へ] ボタンをクリックします。

## ■ 重複データの取り扱い例

台帳を取り込む場合は、コード（相手先コード、商品コードなど）と、名称（相手先名、商品名など）の2つの項目で重複チェックを行います。コードが異なる場合は、名称の重複は許可されます。ただし、いかなる場合でもコードの重複は許可されません。コードが空欄かつ名称が同じ行を複数登録することはできません。

すべての行を取り込む						
ただし、上記の項目が重複する行は、取り込まない。	CSV ファイルに含まれるすべての行を取り込みますが、重複している行は取り込みません。					
	インポートする前のデータ		インポートする「CSV」データ		インポートした後のデータ	
001 002 003 空欄	〇〇文具 かるがる堂 らくだ販売 らくだ販売	001 002 004 005 空欄 空欄	〇〇文具 △△書店 らくだ販売 スーパー□□ らくだ販売 らくだ事務機	001 002 003 空欄 空欄	〇〇文具 かるがる堂 らくだ販売 らくだ販売 らくだ販売 スーパー□□	〇〇文具 かるがる堂 らくだ販売 らくだ販売 らくだ販売 らくだ事務機
ただし、上記の項目が重複する行は、上書き取り込みする。	CSV ファイルに含まれるすべての行を取り込みますが、重複している行は上書きして取り込みます。					
001 002 003 空欄	インポートする前のデータ		インポートする「CSV」データ		インポートした後のデータ	
	〇〇文具 かるがる堂 らくだ販売 らくだ販売	001 002 004 005 空欄 空欄	〇〇文具 △△書店 らくだ販売 スーパー□□ らくだ販売 らくだ事務機	001 002 003 空欄 空欄	〇〇文具(※) かるがる堂 らくだ販売 らくだ販売 らくだ販売(※) らくだ事務機	〇〇文具(※) かるがる堂 らくだ販売 らくだ販売 らくだ販売(※) らくだ事務機
※:重複不可チェック項目以外のその他の項目が、CSV のデータで上書きされます。						
上記の項目が重複する行のみ、上書き取り込みする。						
CSV ファイルに含まれる行のうち、重複している行だけを上書きして取り込みます。						
インポートする前のデータ		インポートする「CSV」データ			インポートした後のデータ	
001 002 003 空欄	〇〇文具 かるがる堂 らくだ販売 らくだ販売	001 002 004 005 空欄 空欄	〇〇文具 △△書店 らくだ販売 スーパー□□ らくだ販売 らくだ事務機	001 002 003 空欄 空欄	〇〇文具(※) かるがる堂 らくだ販売 らくだ販売(※)	〇〇文具(※) かるがる堂 らくだ販売
※:重複不可チェック項目以外のその他の項目が、CSV のデータで上書きされます。						

## ⑤ 取り込み設定の確認

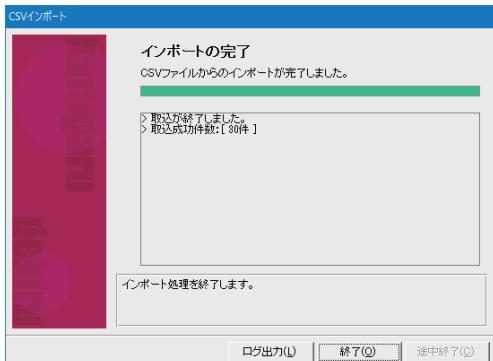


取り込む内容が正しいことを確認し、「実行」ボタンをクリックすると取り込みを開始します。

取り込み実行中に「途中終了」ボタンをクリックすると、取り込みを終了しますが、その時点までのデータは取り込まれます。

「設定保存」ボタンをクリックすると、現在のインポートの設定を保存できます。詳しくは、68 ページの「インポート設定を保存する」をご覧ください。

## ⑥ 取り込みの完了

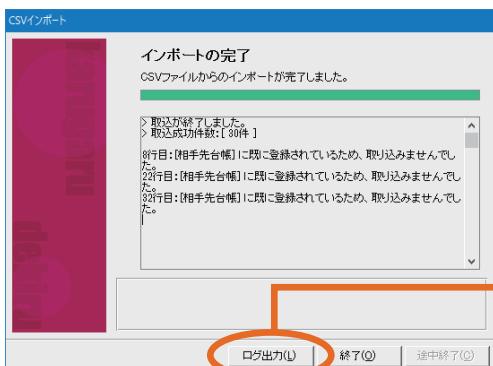


「インポートの完了」画面を表示すると、取り込みは完了です。

[ログ出力]ボタンをクリックすると、取り込んだCSVファイルと同じ場所に、取り込みのログをCSV形式で出力します。

取り込みのログで状況の確認や、取り込みに失敗したデータの確認などができます。

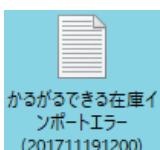
## ⑦ インポートに失敗した場合



取り込むファイルが正しくないために、取り込みに失敗したデータがあった場合に表示します。その場合はログの出力を行ってください。

[ログ出力]ボタンをクリックすると、エラーログファイルをデスクトップに作成します。

[ログ出力]ボタンをクリック



エラーログファイルを開いて確認してください。

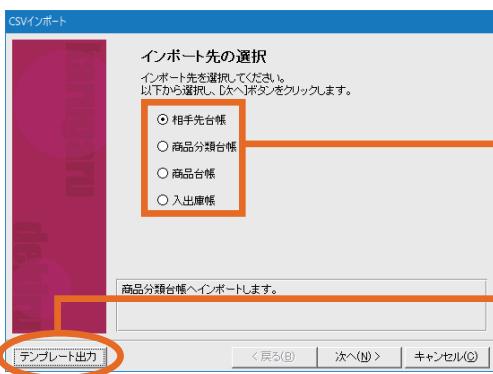
必要がある場合は取り込むファイルの修正を行ってから、再度、台帳の取り込みを行ってください。

### ■ テンプレートファイル(ひな形)の出力

台帳を取り込む際に、本製品の仕様に合わせたCSV形式のテンプレートファイルの出力ができます。

出力したテンプレートファイルを表計算ソフトで編集し、取り込むためのファイルを作成する際に使用してください。

※CSV形式ファイルとは、項目をカンマ(「,」)で区切ったテキストファイルのことです。

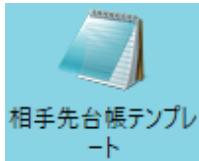


[インポート先の選択]画面で、テンプレートファイルを出力する台帳を選択します。

テンプレートを出力する台帳を選択

[テンプレート出力]ボタンをクリックします。

[テンプレート出力]ボタンをクリック



デスクトップに選択した台帳のテンプレートファイルを出力します。  
テンプレートファイルを、表計算ソフトなどで編集して、台帳の取り込みを行ってください。

## ■ インポート設定を保存する

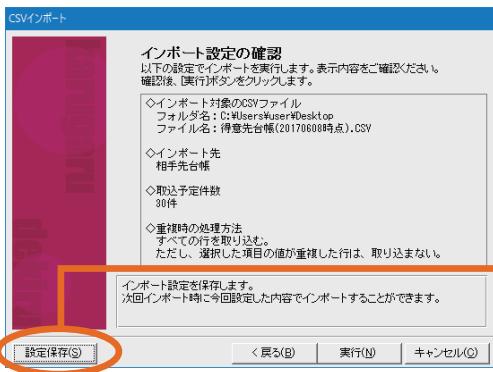
取り込む CSV ファイルや項目の割り付けの設定は、保存することができます。設定を保存することで、次回のインポートで設定を読み込むと、保存した設定でインポートができます。

インポート設定を保存する場合は、以下の点に注意してください。

- ・取り込む CSV ファイルのファイル名を変更しない
- ・CSV ファイル内の項目名を変更しない
- ・ファイルの保存場所を変更しない

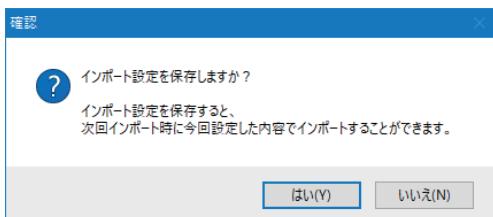


### ① インポート設定を保存する



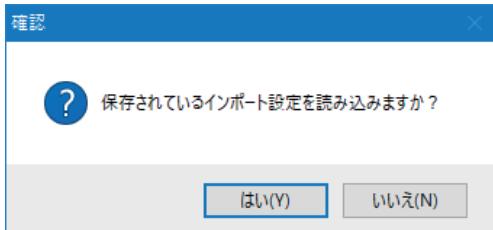
インポート設定を保存するには、「インポート設定の確認」画面で [設定保存] ボタンをクリックします。

[設定保存] ボタンを  
クリック



「確認」画面を表示します。  
インポート設定を保存する場合は、[はい] ボタンをクリックします。  
インポート設定を保存しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。

### ② 次回のインポート時に設定を読み込む

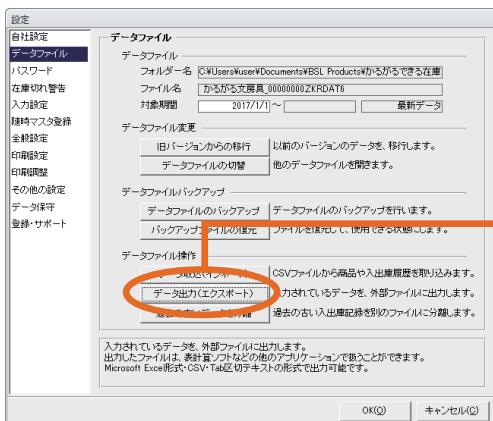


次回のインポートで、「インポート先の選択」画面の台帳を選択した後に [次へ] ボタンをクリックした場合に、設定を読み込むメッセージを表示します。

保存した設定を読み込む場合は、[はい] ボタンをクリックします。  
新たに設定し直す場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。

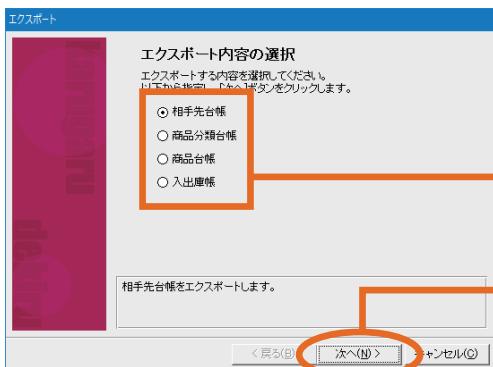
## ◆ データを別ファイルに出力する(エクスポート)

本製品は、入力されている各種台帳や入出庫帳データを外部ファイルにデータ出力(エクスポート)することができます。エクスポートしたファイルを、表計算ソフトなどで活用できます。



登録されている台帳などを、外部ファイルに出力するには、「設定」画面の「[データファイル]」内にある、「[データ出力(エクスポート)]」ボタンをクリックします。

### ① 台帳の選択



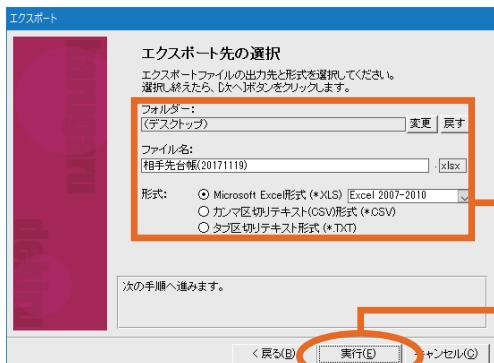
エクスポートする台帳の種類を選択します。  
エクスポートする台帳の種類をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

エクスポートする台帳の種類を選択

[次へ]ボタンをクリック

台帳の種類	説明
相手先台帳	登録されている相手先台帳をエクスポートします。 相手先台帳が有効の場合に表示します。
商品分類台帳	登録されている商品分類台帳をエクスポートします。
商品台帳	登録されている商品台帳をエクスポートします。[次へ]ボタンをクリックすると、取り扱いを中止した商品も含めてエクスポートするかどうかを選択できます。
入出庫帳	入出庫帳をエクスポートします。[次へ]ボタンをクリックすると、特定の期間を指定してエクスポートするかどうかを設定できます。

## ② エクスポート先の選択



エクスポート先の選択  
エクスポートファイルの出力先と形式を選択してください。  
選択終えたら、[次へ]ボタンをクリックします。

フォルダー: [デスクトップ] [変更] [戻す]  
ファイル名: 相手先台帳(20171119) [xlex]  
形式:  Microsoft Excel形式 (\*.XLS) [Excel 2007-2010]  
○ カマ括弧区切りテキスト(CSV)形式 (\*.CSV)  
○ タブ区切りテキスト形式 (\*.TXT)

次の手順へ進みます。

＜戻る(B) 実行(E) [次へ] リセット(C)

エクスポート先のフォルダーと、出力形式(XLS・CSV・TXT)の選択を行います。必要に応じてファイル名を変更してください。選択が終わったら、[次へ]ボタンをクリックします。

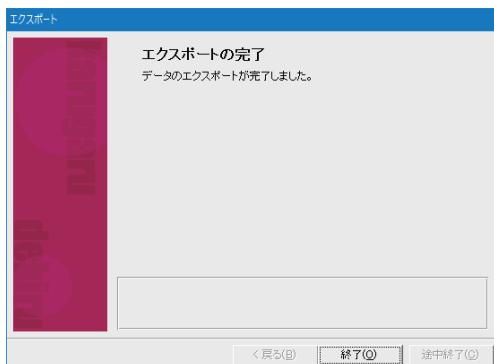
エクスポートするファイルの出力先・ファイル名・出力形式を選択

[次へ]ボタンをクリック



エクスポート先は、通常デスクトップに設定されています。エクスポート先を変更するには、右側の[変更]ボタンをクリックして指定できます。

## ③ エクスポートの完了



エクスポートの完了  
データのエクスポートが完了しました。

＜戻る(B) 終了(O) [途中終了(C)]

エクスポートが終了すると、「エクスポートの完了」画面が表示されます。

エクスポート実行後、エクスポート先にファイルが作成されていることを確認してください。

※エクスポートは「在庫確認」画面などのメニューバーからでもできます。

## ◆ 台帳のインポートファイル仕様

本製品は、以下の各項目を外部ファイルからインポートすることができます。

インポートファイルの項目の並び順やインポート項目名を同一にする必要はありませんが、データ書式(データ型・文字数)を合わせておく必要があります。

### ■ 相手先台帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	相手先コード	文字型	15 文字	重複不可
2	相手先名カナ	文字型	100 文字	
3	相手先名	文字型	50 文字	必須項目
4	担当者	文字型	50 文字	
5	郵便番号	文字型	10 文字	
6	住所 1	文字型	50 文字	
7	住所 2	文字型	50 文字	

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
8	電話番号	文字型	50 文字	
9	FAX 番号	文字型	50 文字	
10	備考	文字型	50 文字	
11	仕入先	YES/NO 型		該当する:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 該当しない:「0/No/False/×」のいずれか
12	出庫先	YES/NO 型		該当する:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 該当しない:「0/No/False/×」のいずれか
13	取引中止	YES/NO 型		対象:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 対象外:「0/No/False/×」のいずれか

## ■商品分類台帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	商品分類コード	文字型	15 文字	重複不可
2	商品分類名	文字型	50 文字	必須項目

## ■商品台帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	商品コード	文字型	20 文字	重複不可、バーコード印刷時は 5~15 文字を推奨
2	商品名	文字型	50 文字	必須項目
3	商品分類コード	文字型	15 文字	
4	商品分類名	文字型	50 文字	
5	単位	文字型	7 文字	
6	発注点	数値型	9 桁	整数 7 桁+小数 2 桁~整数 9 桁
7	JAN コード	文字型	13 文字	
8	リードタイム	数値型	10 文字	
9	取扱中止日	日付型		例)2016/06/16
10	棚卸対象	YES/NO 型		対象:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 対象外:「0/No/False/×」のいずれか
11	備考	文字型	50 文字	

## ■入出庫帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	入出庫日	日付型		必須項目、例)2016/06/16
2	商品コード	文字型	20 文字	バーコード印刷時は 5~15 文字を推奨
3	商品名	文字型	50 文字	
5	入庫数	数値型	9 桁	整数 7 桁+小数 2 桁~整数 9 桁
6	出庫数	数値型	9 桁	整数 7 桁+小数 2 桁~整数 9 桁
7	仕入単価	数値型	9 桁	整数 7 桁+小数 2 桁~整数 9 桁
8	相手先コード	文字型	15 文字	
9	相手先名	文字型	50 文字	
10	備考	文字型	50 文字	

# 22 サポートサービスを利用する

## ◆ 「操作サポート無料」について

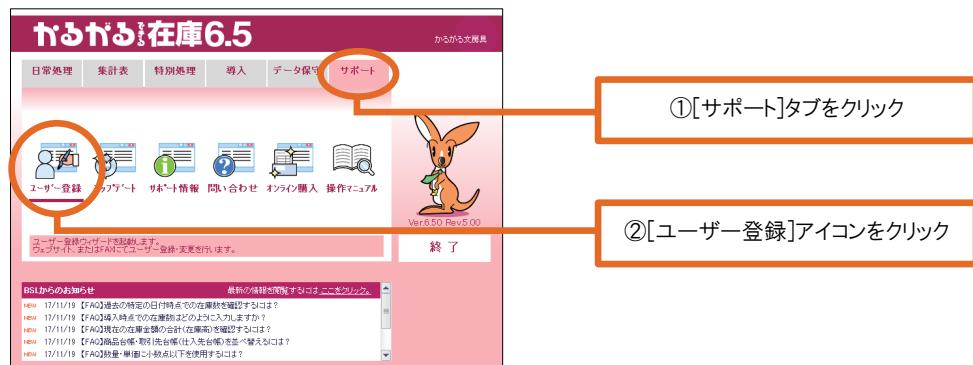
本製品のユーザー登録をいただきましたお客様へ、弊社サポートセンターへの電話・FAX・Eメールによるお問い合わせを無料で承ります。お問い合わせに対して回答をご案内する際に要する費用は無料で対応いたします。ただし、電話料金などの通信費用はお客様のご負担となります。

弊社サポートセンターは、本製品の操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。コンピューター本体や周辺機器などに関しては各製品のメーカーへご相談ください。また会計処理や税務処理、社会保険処理などに関するご質問は受け付けておりませんので、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄の税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談ください。

本製品は、ご利用のコンピューター本体およびOSなどの他社製品によって影響を受けない範囲において、サポートサービスの期間に制限はありません。ただし、ソフトウェアやハードウェアの環境の変遷などの弊社の責によらない事由によって、事実上適切なサポートサービスが提供できないと弊社が判断した場合、もしくは製品機能に関する法律の改正やその他の外的要因により、製品をご購入時のまま利用することが事実上不可能となつた場合には、サポートサービスを終了させていただくことがあります。

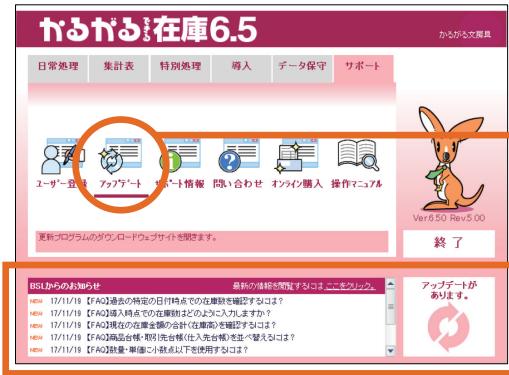
## ■ サポートサービスを利用するには

サポートサービスをご利用になるには、はじめに無料のユーザー登録を行っていただく必要があります。登録は[ユーザー登録]アイコンから簡単に行えます。一度ユーザー登録を行えば、次から登録作業をする必要はありません。



本製品のユーザー登録をいただきましたお客様へ、弊社サポートセンターへの電話・FAX・Eメールによるお問い合わせを、無料で承ります。(お問い合わせに対して回答をご案内する際に要する費用は無料で対応いたしますが、お問い合わせに係る電話料金などの通信費用はお客様のご負担となります)





[アップデート]アイコンをクリックすると、更新プログラムの確認とダウンロードができます。

[アップデート]アイコンをクリック

更新情報は、メインメニュー下の「BSL からのお知らせ」に表示されるので、最新の改正等への対応を確実に行えます。

## ■ 電話問い合わせ

専門スタッフが無料で電話対応いたします。

サポートセンター電話番号 : 03-3352-6241

受付時間 : 月曜日～金曜日 10:00～12:00, 13:30～16:30  
(土曜、日曜、祝日、および弊社休業日を除く)

## ■ FAX問い合わせ

早朝や深夜、土・日・祝祭日でも、FAXでのお問い合わせを年中無休で24時間受け付けております。回答は翌営業日以内にご案内いたします。

サポートセンターFAX番号 : 03-5362-7860

郵送の場合 : 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-11 日新ビル

株式会社 BSL システム研究所 サポートセンター

## ■ Eメール問い合わせ

手軽で敏速に問い合わせたい方は、Eメールによるお問い合わせをご利用いただけます。弊社のウェブサイトから入力フォーム形式で年中無休、24時間お問い合わせを受け付けております。回答は翌営業日以内にご案内いたします。Eメールでのお問い合わせの場合は、折り返し弊社からのご案内もメールで返信いたしますので、操作資料として保存してご活用いただけます。

## ◆ 挫折買取サービスについて

本製品は、弊社のサポートサービスをお受けいただいた上でも操作面で挫折され運用できなかった場合、製品のご購入日より1年以内に限り、お客様からの挫折情報の買取サービスを行います。弊社のサポートをお受けいただいたにもかかわらず、操作困難のため運用が不可能と弊社サポートセンターで判断させていただいた場合、弊社からお送りする「挫折内容連絡書」にご記入の上、ご購入の証明書類（領収証など）のコピーおよび製品パッケージ内容一式を、弊社までお送りいただきます。（販売店では受け付けておりません）

その連絡書から得られた情報は、弊社がさらに挫折しないソフトを開発するまでの貴重な参考資料とさせていただくと共に、お客様には情報提供感謝料として当該製品のご購入時の金額をお支払いいたします。（ご購入時に当該製品に対して実際お支払いいただいた金額から、消費税および支払手数料を引いた金額をお支払いいたします）

なお本サービスの適用は、ソフトウェアの操作面で挫折され本製品の提供する機能を利用できず、運用できなかった場合に限ります。お客様の期待した機能の不足や製品への不満足、お客様の希望する業務手順との不適合、経理・簿記などの業務知識の不足による運用困難、コンピューター本体や周辺機器との不適合による運用困難の場合、およびお客様のご都合による運用中止や返品は、対象外とさせていただきます。





## 3つの信頼 BSL の「安心保証」

弊社では「使いこなせる業務ソフト」をキャッチフレーズに、初めて業務ソフトをご利用になるお客様でも確実に使いこなしていただけるよう、さまざまなサポートサービスをご用意しております。

### ①「操作サポート無料」で気軽に問い合わせ!!

操作上の疑問があるときには、電話・FAX・Eメールでいつでもお気軽に問い合わせ下さい。  
専門スタッフが、分かりやすく丁寧にご説明いたします。いつでも何度もお問い合わせいただけます。

### ②「挫折買取サービス」で使いこなせるお約束!!

弊社では「挫折撲滅!!」を目標として掲げ、どなたにも確実に使いこなしていただけるよう努めております。  
もしサポートサービスをお受け頂いたにもかかわらず操作面で挫折され、運用困難と弊社にて判断した場合、買取サービスをいたします。

### ③「災害支援サービス」でもしもの時にも安心!!

万が一、火災や自然災害に遭ってしまったなら、そんな時もお客様の事業継続を支援いたします。  
被災した場合に、製品のCD-ROMやマニュアルなど、運用に必要な媒体を無償でご提供いたします。

#### ①「操作サポート無料」について

弊社製品のユーザー登録を頂きましたお客様へ、弊社サポートセンターへの電話・FAX・Eメールによるお問い合わせを、無料で承ります。お問い合わせに対して回答をご案内する際に要する費用は無料で対応いたしますが、お問い合わせに係る電話料金等の通信費用はお客様のご負担となります。

弊社サポートセンターは製品の操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。コンピュータ本体や周辺機器等に関しては各製品のメーカーへご相談下さい。また会計処理や税務処理、社会保険処理等に関するご質問は受け付けておりませんので、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄りの税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談下さい。

弊社製品は、ご利用のコンピュータ本体およびOS等の他社製品によって影響を受けない範囲において、サポートサービスの期間に制限はありません。但しソフトウェアやハードウェア環境の変遷などの弊社の責によらない事由によって、事実上適切なサポートサービスが提供できないと弊社が判断した場合、もしくは製品機能に関連する法律の改正やその他の外的要因により、製品をご購入時のまま利用することが事実上不可能となった場合には、サポートサービスを終了させていただくことがあります。

#### ②「挫折買取サービス」について

弊社製品は、弊社のサポートサービスをお受け頂いた上でも操作面で挫折され運用できなかつた場合、製品のご購入日より1年以内に限り、お客様からの挫折情報の買取サービスを行います。

弊社のサポートをお受け頂いたにもかかわらず、操作困難のため運用が不可能と弊社サポートセンターで判断させていただいた場合、弊社からお送りする「挫折内容連絡書」にご記入のうえ、ご購入の証明書類(領収証等)のコピーおよび製品パッケージ内容一式を、弊社までお送りいただきます。(販売店では受け付けておりません)その連絡書から得られた情報は、弊社がさらに挫折しないソフトを開発する上での貴重な参考資料とさせていただくと共に、お客様へは情報提供感謝料として当該製品のご購入時の金額をお支払いいたします。(ご購入時に当該製品に対して実際にお支払い頂いた金額から、支払手数料を引いた金額をお支払いいたします)

なお本サービスの適用は、ソフトウェアの操作面で挫折され本製品の提供する機能を利用できず、運用できなかつた場合に限ります。お客様の期待した機能の不足や製品への不満足、お客様の希望する業務手順との不適合、経理・簿記等の業務知識の不足による運用困難、コンピュータ本体や周辺機器との不適合による運用困難の場合、およびお客様のご都合による運用中止や返品は、対象外とさせていただきます。

#### ③「災害支援サービス」について

弊社製品のユーザー登録を頂きましたお客様へ、地震・風水害等の自然災害や火災による罹災、盗難被害(以下「被災」)により製品が使用不能となった場合に、製品の媒体を無償でご提供いたします。

本サービスを依頼されるお客様は、被災した日より3ヶ月以内に弊社までご連絡いただき、「罹災証明書」「盗難届受理証明書」等をご提示ください。被災状況の確認後、必要な媒体をご指定の住所へ無償でお送りいたします。

本サービスは、ご使用の製品の発売期間中、および弊社規定による媒体保有期間中に限ります。媒体保有期間の終了後については、後継製品が発売されている場合は、ご希望により後継製品を無償でご提供いたします。

本サービスによる対応は、使用不能となつた製品の媒体(CD-ROM、マニュアル)の提供に限ります。コンピュータ本体や周辺機器等の復旧、データの復旧、サプライ用品等については対象外です。

本サービスの適用は、ユーザー登録の登録住所地において、登録者本人が被災された場合に限ります。被災時点でユーザー登録が行われていない場合、登録住所地以外で被災した場合、紛失、破損、破棄などの理由により使用不能となつた場合、等については対象外とさせていただきます。

## かるがるできる在庫6.5 操作マニュアル

MNL1710N-ZK6.5

発行:株式会社BSLシステム研究所

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-11 日新ビル

Microsoft, MS, Windows, Microsoft Access は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の著作権は、株式会社BSLシステム研究所にあります。

本書は著作権法によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。

本書の全部または一部、無断で転載、複写機などによる複写複製、電子装置へ入力することは禁止されています。

記載されている製品画像および内容の一部には開発段階のものが含まれています。

本書の内容と製品の仕様が異なる場合には、製品の仕様が優先されます。

サンプルとして記載されているデータはすべて架空のものです。

## かるがるできる在庫6.5 シリアルナンバー



この番号は製品を使用する際に必要です。また、ユーザー登録やサポートサービスにも必要となりますので大切に保管してください。  
シリアルナンバーの再発行は有料となります。

### BSLユーザーサポートセンター

TEL : 03-3352-6241

FAX : 03-5362-7860

URL : [www.bsl-jp.com](http://www.bsl-jp.com)

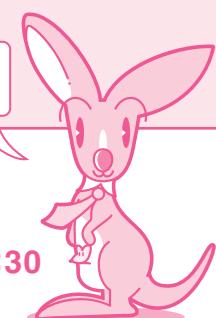
E-mail : [karugaru@bsl-jp.com](mailto:karugaru@bsl-jp.com)

月曜日～金曜日

10:00～12:00 / 13:30～16:30

土・日・祝祭日を除く

(FAX・E-mailは翌営業日以内に回答を  
ご案内いたします)



※サポートセンターではソフトの操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。会計処理や税務処理、社会保険処理等に関するご質問は、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄りの税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談下さい。